

参考資料 (まちな姿 3)

- ①令和 5 年度狛江市市民意識調査
- ②狛江市のまちづくりに関するアンケート
(小・中学生アンケート)
- ③狛江高校まちづくりに関するアンケート
- ④狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ
- ⑤狛江市前期基本計画の指標等に係る市民アンケート
- ⑥狛江市商業振興プラン
- ⑦狛江市農業振興計画

【令和5年度狛江市市民意識調査】

○調査概要

1 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「後期基本計画」を策定する上で、市民の狛江市に対する思いやこれからのまちづくりに期待すること等を把握し、検討の基礎資料とするため、市民意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年7月1日時点）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布・郵送又はWeb回答
- (5) 調査期間…令和5年7月31日～8月22日（23日間）

3 調査項目

- (1) 回答者属性（問1～問6）
- (2) 狛江市について（問7-1～問8-3）
- (3) 狛江市総合基本計画施策について（問9～問15）
- (4) 市政に関する意見・要望等（問16）

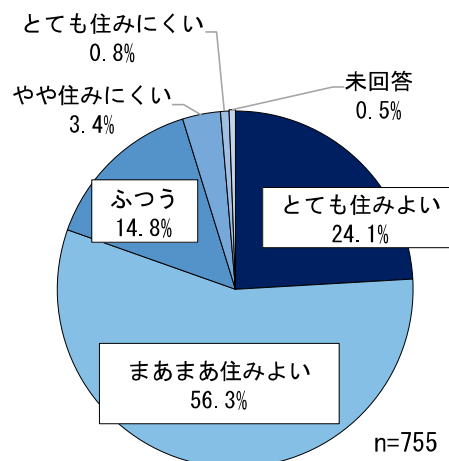
4 回収結果

755通（回収率30.2%）

○調査結果

問 狛江市は住みよいと思いますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

	票数	構成比
とても住みよい	182	24.1%
まあまあ住みよい	425	56.3%
ふつう	112	14.8%
やや住みにくい	26	3.4%
とても住みにくい	6	0.8%
未回答	4	0.5%
合計	755	



問 狛江市が住みよい理由は何ですか。(とても住みよい、まあまあ住みよいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	水と緑が豊かなまちだから	305	19.8%
2位	安心・安全に過ごせるまちだから	249	16.2%
3位	コンパクトさを活かしているまちだから	211	13.7%
4位	交通環境が良いまちだから	172	11.2%
5位	ごみの少ない、きれいなまちだから	88	5.7%
6位	子育てしやすいまちだから	59	3.8%
7位	健康に暮らせるまちだから	54	3.5%
8位	農業が盛んなまちだから	52	3.4%
9位	みんながやさしいまちだから	50	3.2%
10位	道路・排水が整備されているまちだから	47	3.1%
11位	お店が充実しているまちだから	44	2.9%
12位	地域のつながりが強いまちだから	39	2.5%
13位	にぎわいのあるまち(イベントなど)だから	32	2.1%
14位	美しい景観・まち並みのあるまちだから	31	2.0%
15位	その他	24	1.6%
16位	未回答	18	1.2%
17位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みやすいまちだから	16	1.0%
18位	歴史・文化財を大切にするまちだから	15	1.0%
19位	市民活動が盛んなまちだから	14	0.9%
20位	文化が育まれているまちだから	6	0.4%
21位	若者が多く活気のあるまちだから	5	0.3%
22位	スポーツが盛んなまちだから	4	0.3%
22位	教育環境が充実しているまちだから	3	0.2%
24位	生涯に渡り学び続けられるまちだから	1	0.1%
合 計		1,539	

問 狛江市が住みにくい理由は何ですか。(やや住みにくい、とても住みにくいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	お店が充実していないまちだから	19	21.6%
2位	道路・排水が整備されていないまちだから	9	10.2%
2位	その他	9	10.2%
4位	コンパクトさを活かしていないまちだから	6	6.8%
4位	交通環境が悪いまちだから	6	6.8%
6位	安心・安全に過ごせないまちだから	5	5.7%
6位	教育環境が充実していないまちだから	5	5.7%
8位	やさしさが足りないまちだから	4	4.5%
8位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みづらいまちだから	4	4.5%
8位	美しい景観・まち並みのないまちだから	4	4.5%
11位	子育てしづらいまちだから	3	3.4%
12位	水と緑が豊かではないまちだから	2	2.3%
12位	地域のつながりが弱いまちだから	2	2.3%
12位	にぎわいのないまち(イベントなど)だから	2	2.3%
12位	健康に暮らしづらいまちだから	2	2.3%
12位	ごみがありきれいではないまちだから	2	2.3%
17位	文化が育まれてないまちだから	1	1.1%
17位	若者が少なく活気のないまちだから	1	1.1%
17位	市民活動が盛んではないまちだから	1	1.1%
17位	未回答	1	1.1%
21位	農業が盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	歴史・文化財に触れにくいまちだから	0	0.0%
21位	スポーツが盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	生涯に渡り学び続けづらいまちだから	0	0.0%
合 計		88	

問 狛江市総合基本計画施策についてお聞きします。

それぞれの施策について施策が進んでいる（評価できる）と思うか、この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思うかについて選択肢の中から1つずつ選んでご回答ください。

(1) 施策が進んでいる（評価できる） と 思いますか	とても そう思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち					
①魅力の創出・向上・発信	120	324	196	83	16
②地域コミュニティ・都市間交流の推進	62	247	320	94	19
③商工業の振興	46	182	286	173	54
④都市農業の推進	85	235	276	110	30

(2) この施策を優先して（継続して）進め るべきだと思いますか	とてもそう 思う	ややそう思 う	どちら でもない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち					
①魅力の創出・向上・発信	273	264	153	30	15
②地域コミュニティ・都市間交流の推進	182	286	208	46	8
③商工業の振興	257	262	174	34	8
④都市農業の推進	263	255	173	30	17

問 次期基本計画又は市政に関してご意見、ご要望などございましたら、ご記入ください。（抜粋）

<まちの姿3 活気にあふれ、にぎわいのあるまち>

- これといった、商業施設がない。ジャックポッドが市役所に入っているが、来年の春で休業すると聞いておりショックだ。休業をしないように何とかして欲しい。
- お金（予算）を分配することだけでなくどうやったらかせげるか、という施策をもっとすすめてほしいです。分配、消費だけでは未来がない。農産物、地域イベント ←（泉能寺のカフェ・ビール e t c のイベント 花火大会 いかだレース）をさらにもりあげてほしい。
- 飲食店や娯楽施設は少ないので、いつも電車にのって、川崎や、世田谷区へ行くことが多いです。やすく、おいしい飲食店、飲み屋、カラオケなどを増やしてほしい。
- もっと活気がある日常的なにぎわい、魅力的な商業施設や商店、飲食店なども有り、人々が狛江で楽しめるようにして欲しい。安心、安全、福祉の充実の基本であり、充

たされていると思うので

- 駅南側の開発 街のシンボルとなるようなお店がない。活気が無い。狛江の特産物、他の地方自治体と差別化出来るものがヒツヨウだと思いました。市民から支持され愛着を持ってもらえる何かを強化するといいと思います。その何かつよみのものと活動すると、市民と一体感生まれ、様々な活動も世代とわず浸透するのでは？と思いました。市民代表を何人かランダムにえらんで、アンバサダー的に1年ずつ自由ないけんを言ってもらう場をつくる？何か報酬つきで。
- 店が少ない。特に和泉多摩川駅周辺、文防具店や本屋がない。年を取って自転車が使えなくなると不便だろうと思う。

今回これ書くために狛江のHPをみた。小菅の湯もっと活用できたらいいですね。友好都市といっても、あまり知られていなさそうです。

- 狛江市に引っ越して2年目ですが、自然が豊かで、静かな環境が気に入っています。農業が盛んで、地物の枝豆の美味しさにもビックリしました。絵手紙発祥の地であることは引っ越してから知りましたが、駅や周辺にたくさん展示があるので、親しみを覚えました。また、市民が参加できるイベントが多いこと、エコルマホールで質の高い催しが都心より安価で観覧できることなども狛江市の魅力だと感じています。コマラジとの連携も良いと思います。
- 新しい店舗が増えているのは素晴らしいことなのですが、お酒を提供する店が多く、深夜の営業と、住宅が隣接していることで、騒音問題も懸念されると感じています。

【狛江市のまちづくりに関するアンケート（小・中学生アンケート）】

○調査概要

（1）調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、小・中学生が狛江にこれからどんなまちになってほしいと思うか等を把握し、検討の基礎資料とするため、小・中学生アンケートを実施した。

（2）調査設計

①小学生アンケート

- ・調査対象…市内小学校5年生
- ・児童数……605人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

②中学生アンケート

- ・調査対象…市内中学校2年生
- ・生徒数……478人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

（3）調査項目

①小学生アンケート

- ・どこどの学校に通っているか
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

②中学生アンケート

- ・どこどの学校に通っているか
- ・大人になっても「狛江」に住み続けたいか（中学生のみ）
- ・その理由
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

（4）回答結果

- | | |
|-----------|----------------|
| ①小学生アンケート | 432件（回答率71.4%） |
| ②中学生アンケート | 376件（回答率78.7%） |

小学生

問 狛江にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		回答数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境(かんきょう)にやさしいまち	213	17.3%	2位
2位	犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	210	17.0%	1位
3位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲(なか)が良いまち	162	13.1%	6位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	153	12.4%	4位
5位	地震や台風などの災害(さいがい)に強い安全なまち	110	8.9%	5位
6位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	92	7.5%	3位
7位	お年寄りや障(しょう)がいのある人がいきいきと過ごせるまち	86	7.0%	8位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	79	6.4%	7位
9位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	47	3.8%	9位
10位	狛江産の野菜や果物(くだもの)などがたくさん食べられるまち	26	2.1%	10位
11位	商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち	23	1.9%	11位
12位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	20	1.6%	12位
13位	そのほか	11	0.9%	13位

問 えらんだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【11 商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち】

- ・駅前一本屋さんを建てる。本が読めるカフェを作る。ゆったりできるスペースを作る
- ・駅を建て替え商店街をつくる
- ・模型(プラモデルなど)を売るお店を増やしてほしい。なぜならイトーヨーカドーやユニディなどにしか売っていないからです
- ・本屋を増やしてほしい
- ・祭りをたくさんやる
- ・駅前のところをリフォームして、商店街にする。

- ・もっとショッピングモールやスポーツショップを作って欲しい
- ・みんなが明るくて誰でも受け入れられる商店街や、「なんかおもしろそうだな～」というオープン的な店がいいと思います。
- ・商店街の良さを伝える動画を作ったり、ラジオで伝えたりする。
- ・子供が遊べるところを増やす
- ・たくさんのお店がある場所を作って欲しいです
- ・お店を作る！
- ・お店の人を募集するポスターなどを作る
- ・商店街を作る

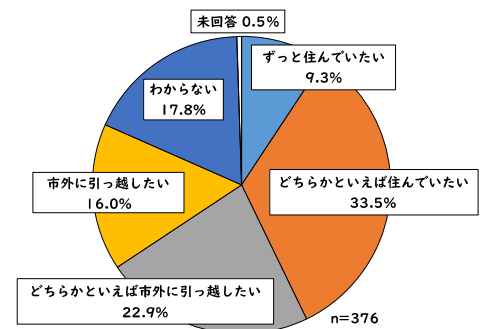
【12 狛江産の野菜や果物（くだもの）などがたくさん食べられるまち】（一部抜粋）

- ・農家を増やし、道具費などを市が支援する
- ・多摩川の水を使った水を作る。
- ・のうかのひとのために、のうかでつかうおかねをさげてあげる。
- ・野菜せんもんてんのばしょ
- ・直売所を増やす？
- ・めずらしい果物や野菜のお店。。
- ・一般人の方が農業を手伝えればいいかなと思いました。
- ・農業体験など、子供たちに積極的に農業を知ってもらう。
- ・畑を増やす・

中学生

問 大人になっても「狛江」に住み続けたいと思いますか。

	票数	構成比
ずっと住んでいたい	35	9.3%
どちらかといえば住んでいたい	126	33.5%
どちらかといえば市外に引っ越したい	86	22.9%
市外に引っ越したい	60	16.0%
わからない	67	17.8%
未回答	2	0.5%
合計	376	



問 住んでいたい理由はなんですか。（2つまで選んでください。）

	票数	構成比
住みなれていて愛着がある	114	37.4%
家族と暮らし続けたい	45	14.8%
自然環境がよい	54	17.7%
交通の便がよい	28	9.2%
買い物の便がよい	17	5.6%
図書館や体育館などの施設が充実している	10	3.3%
レジャー・娯楽施設が充実している	0	0.0%
子育てしやすいそう	15	4.9%
今後発展しそう	4	1.3%
防犯・防災など安心して住める	14	4.6%
その他	4	1.3%
合計	305	

問 引っ越したい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
ほかのまちに住んでみたい	89	34.4%
実家から離れてみたい	34	13.1%
自然環境がよくない	7	2.7%
交通の便がよくない	8	3.1%
買い物の便がよくない	27	10.4%
図書館や体育館などの施設が充実していない	12	4.6%
レジャー・娯楽施設が充実していない	38	14.7%
子育てしづらそう	4	1.5%
今後発展しなそう	27	10.4%
防犯・防災など安心して住めない	2	0.8%
その他	11	4.2%
合計	259	

問 「狛江」にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		票数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境にやさしいまち	149	15.9%	2位
2位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲が良いまち	141	15.1%	9位
3位	犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	141	15.1%	3位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	105	11.2%	6位
5位	地震や台風などの災害に強い安全なまち	98	10.5%	7位
6位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	74	7.9%	8位
7位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	69	7.4%	1位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	45	4.8%	4位
9位	商店街などのお店が多くて活気があるまち	41	4.4%	5位
10位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	24	2.6%	10位
11位	その他	20	2.1%	12位
12位	狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち	17	1.8%	11位
13位	高齢者や障がいのある人がいきいきとすごせるまち	11	1.2%	13位

問 選んだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。

【11 商店街などのお店が多くて活気があるまち】

- ・空いている土地に銭湯やショッピングモールのどの便利な大型施設を作る
- ・商店街の整備
- ・話題性のある建物を建てる
- ・敷地が少ないから難しいかもしれないけれど、お店がたくさんあって買い物を楽しめたり娯楽施設が充実している。
- ・狛江駅まえに商店街らしい商店街がないのでさみしいので活気のあるものにしてほしい。
- ・近くに必要なものを売っている店が少なく、わざわざ電車やバスで移動しなければならなくてその時間が無駄で自分は不便だと思いました。車で行こうとしたら道が狭く通りづらいときもある。なので狛江市民達が行きやすいところにみんなが買いたいものが揃っているデパートなど作ったらいいと思った
- ・本屋さんを作ってほしいです。狛江駅の本屋さんもなくなった、和泉多摩川なんか何もない。もうすこし娯楽施設を増やしてほしいと全力でお願いしたい。
- ・狛江駅に何もなくなってしまったためまたファストフード店やアイスショップ、ドーナツ店などを設けてほしい。
- ・建物を新しくしたり飲食店とか色々なお店をもっと増やす。
- ・カフェやコスメ、ファッション店などができると活気ある市になると思う。
- ・もっと有名だったり人気なお店ができてほしい。チェーン店とか行きやすいお店やデパートみたいな建物で色んないいお店ができてほしい。
- ・スペースを広くする。
- ・商店街をもっとにぎやかにするために、新しい建物を建てる。
- ・子供でも気軽に行きやすい商店街を作る
- ・本さんを増やす。住宅街にも食べ物屋さんを作る。人気のお店（チェーン店）を市内に作る
- ・今、近くにコンビニが多くにあるが、あまり喫茶店やクレープ屋さんなど少ないからもっと多くのお店をひらいて友達ともゆっくり話せるところが欲しい。
- ・アミューズメント施設を作る
- ・商店街を作る
- ・新しいお店をどんどんつくる。飾りなどをつける。
- ・市外でお店をやっている人や会社に声をかける
- ・若者が行きたがるお店を増やす。
- ・都市化を進める
- ・狛江市民が、笑顔で楽しめる街になってほしいから。

- ・商店街を作ってほしい
- ・駅前の商業施設を充実させ、市外からの集客を図る。
- ・同じお店ばかりではなく色んなお店を多くする。(駄菓子屋、洋服屋、ショッピングセンターなど)
- ・空き地などをお店にして商店街をもう少し発展させてたくさんの店やすーぱがある大きい商店街にする
- ・お店はたくさんあるのでもっと活気をよくしていく
- ・土地を広くとる
- ・人気のお店などを建てる

【12 狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち】(一部抜粋)

- ・環境をよくする
- ・狛江の特産品である野菜や果物をインターネット等を用いてPRし、狛江市民や近辺に住んでいる人に知ってもらう
- ・野菜や果物の売店を増やす
- ・まず農家が減っている傾向が日本にはある、狛江も最近都市化が進んでいる気がする、緑の街狛江なので、もう少し農家が増える工夫をしてほしいです。農薬や種を買うとき、まとめ買いだと安くするなどしてほしい。そうすると農家が少しは増えて、野菜、果物、花がたくさん作られ、たくさん食べるし、買える。
- ・地産地消。農家さんを手伝う&応援。土に触れる
- ・学校や施設での食育を継続する
- ・スーパーなどでの地産地消の宣伝を増やす→知ってもらう

【狛江高校まちづくりに関するアンケート】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、総合的な探求の時間において狛江市について学習した狛江高校3年生が狛江市が更に取り組むべきだと思う項目等を把握し、検討の基礎資料とするため、アンケートを実施した。

(2) 調査設計

- ・調査対象…狛江高校3年生
- ・生徒数……314人
- ・調査期間…令和5年9月11日～28日

(3) 調査項目

- ・住んでいる場所
- ・住んでいるまちは住みよいと思うか。
- ・将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思うか。
- ・総合的な探求の時間で取り組んだ分野
- ・狛江市が更に取り組むべきだと思う項目
- ・自由記述

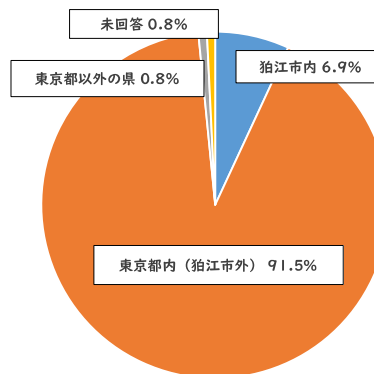
(4) 回答結果

260件（回答率82.8%）

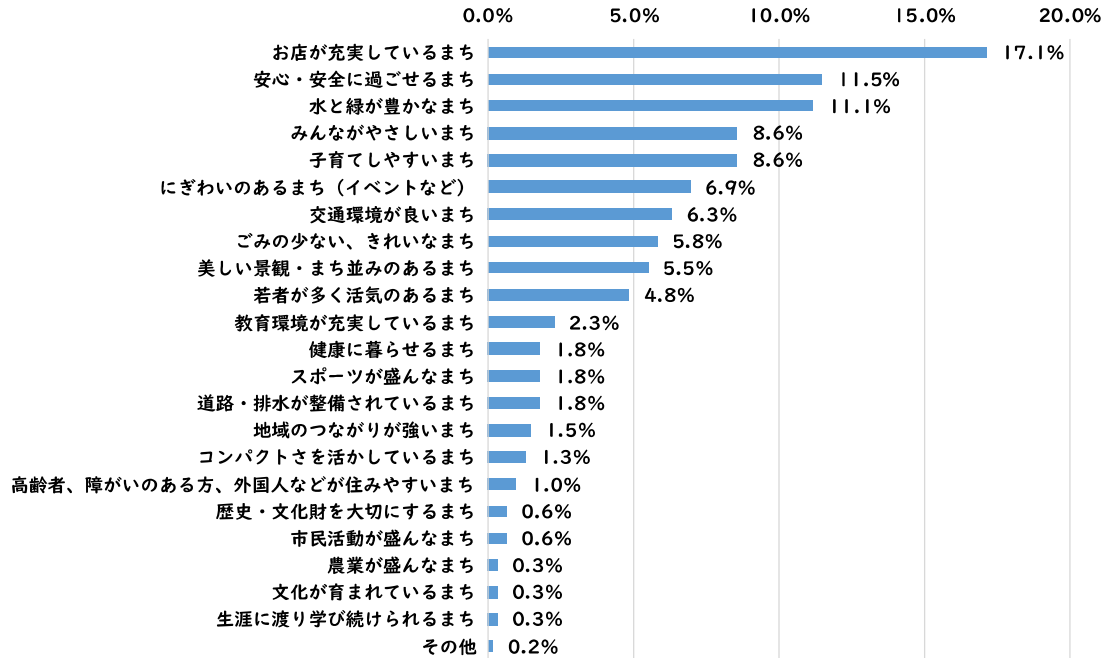
○調査結果

問 住んでいる場所を教えてください。

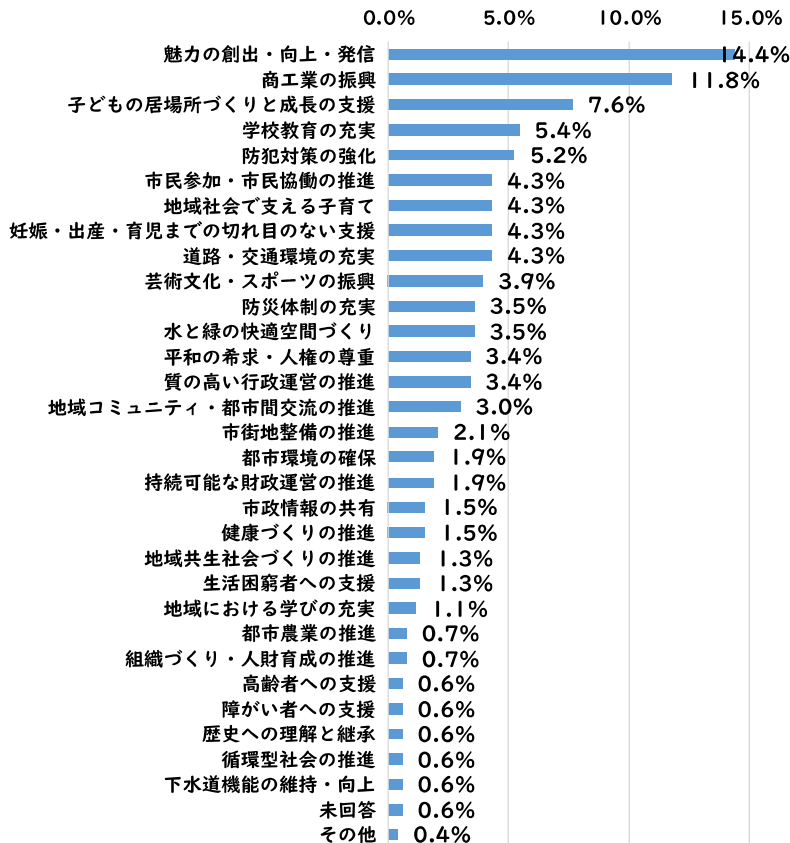
	回答数	構成比
狛江市内	18	6.9%
東京都内（狛江市外）	238	91.5%
東京都以外の県	2	0.8%
未回答	2	0.8%
合計	260	



問 将来、狛江市がどのようなまちであれば住みたいと思いますか。
(当てはまるものを3つまで選択してください。)



問 狛江市が更に取り組むべきだと思う項目を教えてください。



【狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ】

○ワークショップ概要

(1) 目的

市民が感じている狛江市の魅力・課題、住みたいまちの姿、市民・市（行政）ができることについて話し合い、狛江市後期基本計画策定に係る基礎資料とする。

(2) 開催日時・場所

令和5年12月16日（土） 狛江市防災センター

(3) グループ構成・人数

グループ	分野	人数
A	男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業	6人
B	防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり	4人
C	子育て・教育・青少年	3人
D	保健・福祉・健康づくり	5人
E	生涯学習・芸術文化・歴史	4人

計22人

(4) プログラム

内容	時間
説明	20分
自己紹介	5分
①狛江市の魅力・課題について	40分
休憩	10分
②住みたいまちの姿について	45分
休憩	10分
③市民・市ができること	40分

(1) 狛江市の魅力・課題について

狛江市の魅力と課題についてグループごとにブレインストーミングにて話し合っていたきました。※重複するもの、専門用語等の一部文言は整理しています。

Aグループ（男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業）

魅力	課題
<p>《住みやすさ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おだやか、ゆったりした街なみ ・学校の校庭がまあ広い ・子供がおちついている ・コンパクト ・アップダウンがない、平坦な地形 ・駅前がキレイ、駅前にでやすい ・いなかでも都会でもない中途なところに位置してどっちにも行きやすい ・喫煙所があること ・エコルマホールがある ・クラフトビールのお店がたくさんある ・防犯に優れている ・子育て世帯多い ・大きな建物がない ・スーパーが駅近で便利 ・市が協力して在宅ワークや事業を立ちあげるための講演会をひらいてくれる ・地元の農産物が豊富 ・よく探すと小さいながらもよい店、おいしい店がある <p>《アクセスのよさ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心からアクセスが良い ・新宿に近い ・小田急線から都心へのアクセス ・あらゆる所に自転車で行ける ・二子玉川の高島屋に行くのに便利（車で行くがバスもある） ・本数が多い <p>《自然が良い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑がまだまだ残されている 	<p>《インフラ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園、芝生のグラウンドが少ない ・インフラに古いところがある ・駅前、夜道が暗い、街灯が少ない ・室内プールがない ・道路がデコボコでタイヤが減る ・スポーツ施設が少ない ・空き地が少なくなっている、畑が宅地化している <p>《商業施設》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服を買うところがない、本屋がない ・大きなスーパーなどが無い ・駅前が開けているのはいいが、栄えていないということのように思える ・個人のお店がどんどんつぶれて、何か買いたい時百均しかない <p>《水に関する問題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水害が不安 ・歩道の水はけが悪い ・駅前で異臭がする <p>《人口減少》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、人口減少特に若者 ・人口構成はどうか <p>《交通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては足が少ない ・交通手段が少なくなっている <p>《行政》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療の回数が減ってしまった ・保健所がない・警察署がない ・ゴミ処分費用が有料 ・保育の充実

<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・多摩川まで歩いて行ける ・歩道が広い <p>《狛江市ならではの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙がすてき（絵手紙のまち） ・花火大会がある ・市民団体の活動が盛ん ・電話番号が 03 で始まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の情報がどこまで行き届いているかわからない ・市役所の休日、おこなっている日が月 1 回しかない ・確定申告が狛江でできない ・議会便りを読んでも、何をやっているのか具体的にわからない <p>《図書文教》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の充実化 ・図書館がわかれてしまった <p>《他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの時など、地元にもともといた人が中心になって外から入ってきた人が仲間になるのがむずかしい ・知名度があまりない
--	---

(2) 住み続けたいまちの姿について

(1) の魅力と課題を抽出していただいた後に住み続けたいまちの姿とまちのキャッチフレーズをグループごとに話し合っていました。

A グループ（男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業）

住み続けたいまちの姿
<ul style="list-style-type: none"> ・産直野菜が充実している町 ・市民が共に活動できる町 ・アップダウンが少ない町 ・異なる文化、価値観を認める町 ・誰一人取り残さない町 ・いろいろな壁を乗り越えられる町 ・多くの人が集える町、来たい町
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・壁のない町 ・日本一穏やかな町 ・顔が見える町

(3) 市民・市（行政）ができることについて

(2) 住みたいまちの姿に向けて「わたしたち（市民）と市（行政）ができること」について話し合っていました。

A グループ（男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業）

市民	行政
<p>《参加する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動に参加する ・市政に参加する ・イベント、地域イベントに参加する ・ボランティア活動に参加する ・多摩川の掃除に参加する ・ファミリーサポートセンターに参加する ・住民の声を出す ・フードドライブをする <p>《知る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と繋がれるような活動に常に気づくようにする ・積極的な情報共有によって狛江を知る 	<p>《発信する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信をすることによって情報格差のない社会を作る ・市民ができることを聞く公聴会を定期的を開く ・目指すものを明確にして伝える ・お店、産直野菜の場所の書いてある map を更新していく ・住民がちゃんと知れるような情報提供をすること ・市民同士が交流できる機会を設ける <p>《きく》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を聴く ・市民との交流会を開く <p>《増やす》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致、学校を誘致、学生を増やす ・窓口を増やす ・外国人居住者との交流を深める活動を増やす ・スポーツができる場所を増やす ・自転車駐輪場を増やす ・休日の開庁日を増やす ・公園を増やす ・健康づくりのためのイベントを増やす <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップで行政サービスを受けられるようにする ・行政を市民レベル・市民感覚で考えてほしい ・困っている人を減らす

【狛江市前期基本計画の指標等に係る市民アンケート】

第1章 調査概要

調査目的

本調査は、以下の事項の把握を目的とする。

- ① 狛江市前期基本計画に掲げる指標のうち、市民の状況等を対象とするものの現状値
- ② 各課から希望のあった調査
- ③ 市民による狛江市の取組に対する評価

調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年4月1日現在）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から、性別・年齢の人口構成に合わせて無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布、郵送回答・Web回答併用
- (5) 調査期間…令和5年4月12日から令和5年5月2日まで（21日間）

回答結果

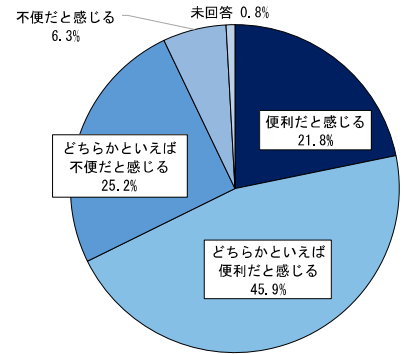
合計…1,069通（回答率42.8%）

・性別・年代ごとの対象者数及び配布・回答結果

属性		対象者数※1		配布数		回答数		
		実数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)
総数 (18歳以上)		67,040		2,500		1,069		42.8%
性別	男性	32,606	48.6%	1,216	48.6%	455	42.6%	37.4%
	女性	34,434	51.4%	1,284	51.4%	558	52.2%	43.5%
	その他	-	-	-	-	1	0.1%	-
	回答したくない	-	-	-	-	18	1.7%	-
	未回答	-	-	-	-	37	3.5%	-
年齢	10歳代	1,351	2.0%	51	2.0%	8	0.7%	15.7%
	20歳代	9,533	14.2%	355	14.2%	86	8.0%	24.2%
	30歳代	10,071	15.0%	376	15.0%	142	13.3%	37.8%
	40歳代	12,581	18.8%	469	18.8%	192	18.0%	40.9%
	50歳代	12,899	19.2%	481	19.2%	203	19.0%	42.2%
	60～64歳	4,635	6.9%	173	6.9%	91	8.5%	52.6%
	65～69歳	3,874	5.8%	144	5.8%	81	7.6%	56.3%
	70歳代	8,641	12.9%	322	12.9%	172	16.1%	53.4%
	80歳以上	3,455	5.2%	129	5.2%	62	5.8%	48.1%
	未回答	-	-	-	-	32	3.0%	-

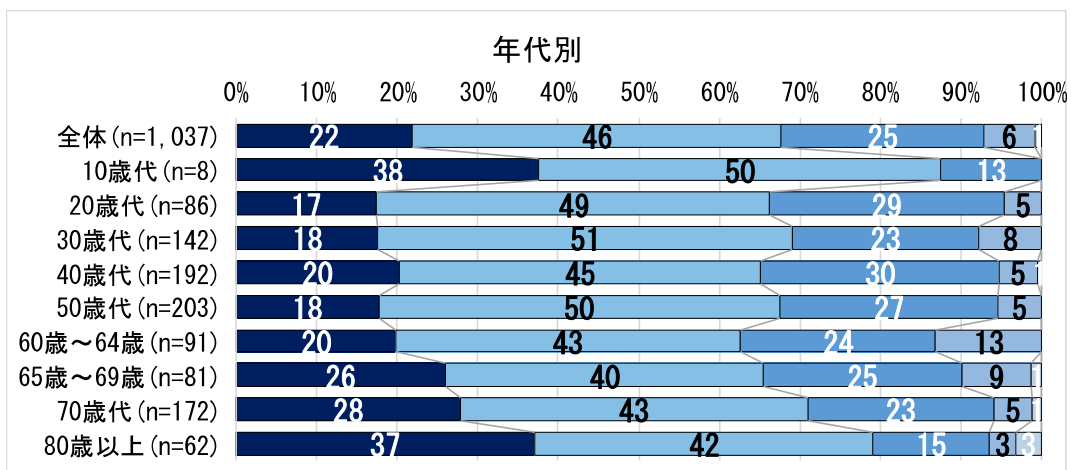
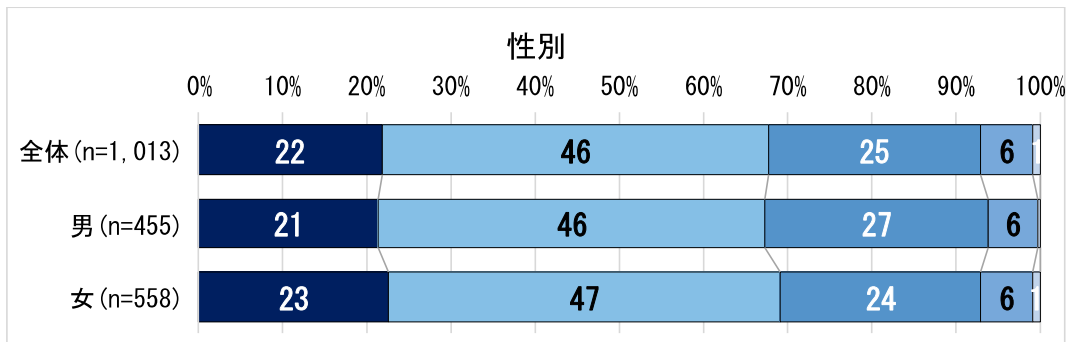
●問8 あなたは、狛江市内での飲食や買い物が便利だと感じますか。
 (番号を1つ選んで○を付けてください。)

	回答数	構成比
便利だと感じる	233	21.8%
どちらかといえば便利だと感じる	491	45.9%
どちらかといえば不便だと感じる	269	25.2%
不便だと感じる	67	6.3%
未回答	9	0.8%
合計	1,069	



■クロス集計

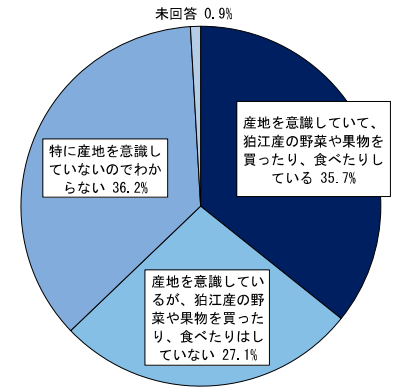
- 便利だと感じる
- どちらかといえば便利だと感じる
- どちらかといえば不便だと感じる
- 不便だと感じる
- 未回答



●問9 あなたは、日頃から狛江産の野菜や果物を意識して買ったり、食べたりしていますか。

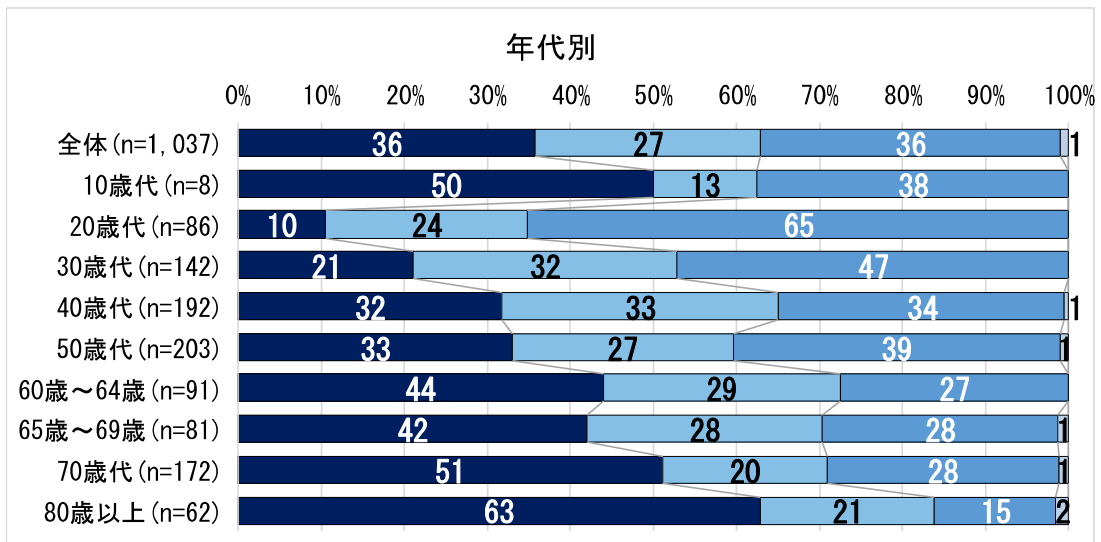
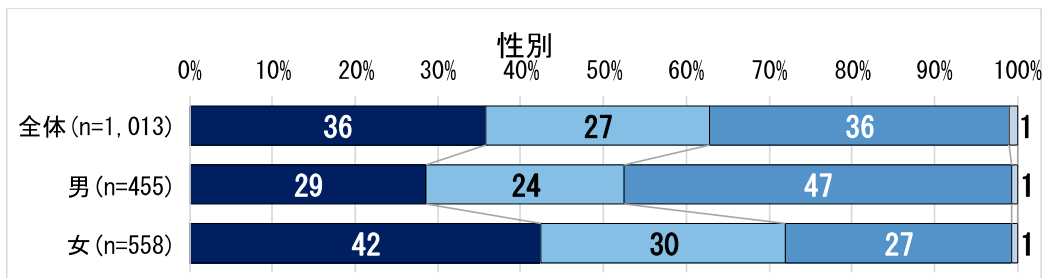
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

	回答数	構成比
産地を認識していて、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている	382	35.7%
産地を認識しているが、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりはしていない	290	27.1%
特に産地を認識していないのでわからない	387	36.2%
未回答	10	0.9%
合計	1,069	



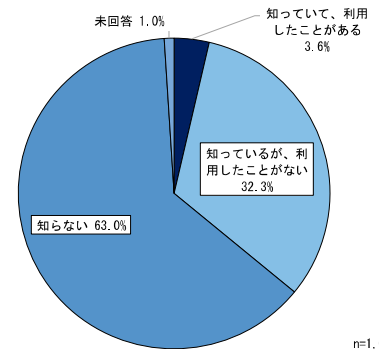
■クロス集計

- 産地を認識していて、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている
- 産地を認識しているが、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりはしていない
- 特に産地を認識していないのでわからない
- 未回答

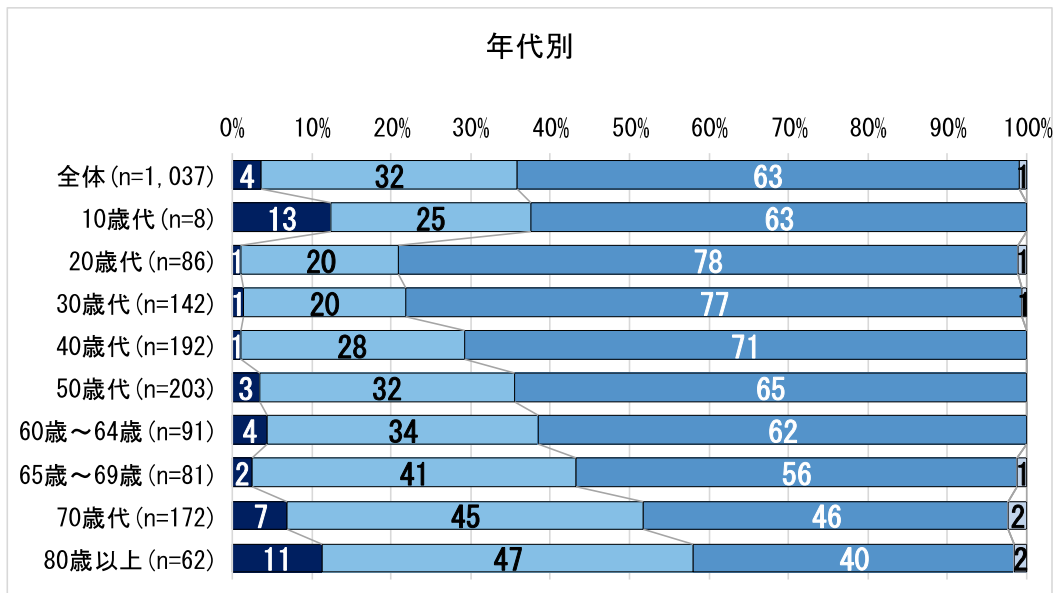
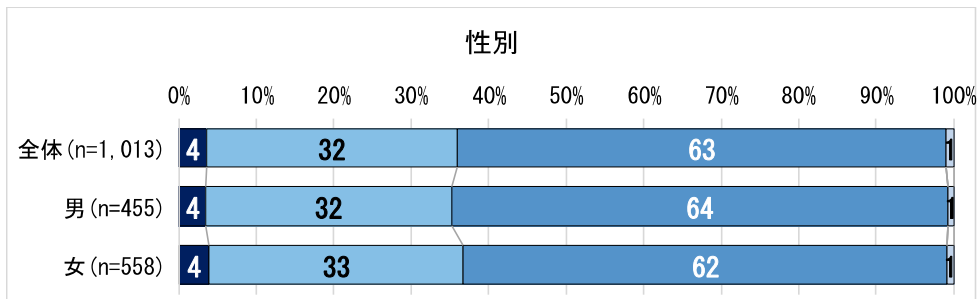
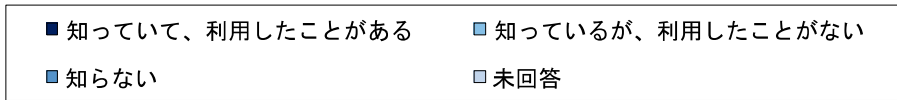


●問 10-1 狛江市に、消費生活センターが設置されていることを知っていますか。
 (番号を1つ選んで○を付けてください。)

	回答数	構成比
知っていて、利用したことがある	39	3.6%
知っているが、利用したことがない	345	32.3%
知らない	674	63.0%
未回答	11	1.0%
合計	1,069	



■クロス集計



※前問で「知っているが利用したことがない」を選択した方へお聞きします。

問 今までに消費生活センターを利用したことがないのはなぜですか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

	回答数	割合※
今まで利用する必要がなかった	291	84.3%
時間帯が合わなかった	2	0.6%
相談するほどのことではないと思った	58	16.8%
相談することに抵抗があった	5	1.4%
未回答	0	0.0%
合計	356	

※前問で「知っているが利用したことがない」を選択した 345 人に対する割合

【狛江市商業振興プラン】

周辺都市との比較

●最終消費者向けの業種がメイン

産業大分類別に事業所数の分布をみても、東京都、周辺都市とも「卸売業、小売業」が2割以上を占めて1位となっています（全国値も25.4%で1位）。

これに続く業種は順位が異なり、東京都、世田谷区、調布市、国立市は「宿泊業、飲食サービス業」が2位となっていますが（全国値も13.0%で2位）、狛江市、稲城市では「建設業」と「不動産業、物品賃貸業」がこれを凌ぎ、一方で「宿泊業、飲食サービス業」はいずれも4位と東京都平均より低くなっています。「医療、福祉」、「生活関連サービス業、娯楽業」は、いずれの都市でも上位に入っています。

■事業所数の分布でみる主な業種【周辺都市との比較】

東京都		狛江市		世田谷区	
分類	構成比	分類	比率	分類	構成比
全事業所数	100.0%	全事業所数	100.0%	全事業所数	100.0%
卸・小売	24.2%	卸・小売	21.6%	卸・小売	24.9%
宿泊・飲食	14.3%	建設業	13.3%	宿泊・飲食	14.2%
不動産・賃貸	9.0%	不動産・賃貸	13.1%	医療、福祉	11.7%
医療、福祉	7.8%	宿泊・飲食	11.8%	生活サービス・娯楽	9.9%
生活サービス・娯楽	7.5%	医療、福祉	10.2%	不動産・賃貸	9.5%
製造業	7.0%	生活サービス・娯楽	9.5%	建設業	6.8%
専門サービス	6.6%	製造業	4.3%	専門サービス	5.4%
その他	23.6%	その他	16.2%	その他	17.6%

調布市		稲城市		国立市	
分類	構成比	分類	構成比	分類	構成比
全事業所数	100.0%	全事業所数	100.0%	全事業所数	100.0%
卸・小売	23.4%	卸・小売	19.0%	卸・小売	23.4%
宿泊・飲食	15.1%	不動産・賃貸	12.1%	宿泊・飲食	14.3%
医療、福祉	11.4%	建設業	12.0%	医療、福祉	12.3%
生活サービス・娯楽	9.6%	宿泊・飲食	10.2%	不動産・賃貸	10.1%
不動産・賃貸	8.3%	製造業	9.2%	生活サービス・娯楽	9.0%
建設業	8.2%	医療、福祉	8.9%	建設業	6.5%
専門サービス	4.9%	生活サービス・娯楽	8.6%	教育、学習支援業	6.5%
その他	19.1%	その他	20.0%	その他	17.9%

法人・個人業を含む民間事業所。業種は略称している。

資料：経済センサス活動調査（平成28年）

市内の主要業種

●事業所数の上位は不動産賃貸管理業・飲食店、従業者数の上位は医療・福祉事業所

狛江市内の産業について、産業中分類別に事業所数の多い（ここでは30件以上の）業種をみると、「不動産賃貸業・管理業」と「飲食店」が200件を超えて最上位となっており、次いで「洗濯・理容・美容・浴場業」「医療業」が続いています。

従業者数の多い（ここでは200人以上の）業種をみると、「医療業」が2千人を超えて最も多く、これに「社会保険・社会福祉・介護事業」「飲食料点小売業」「飲食店」が続いており、市内では、大学病院を擁する医療、介護サービス事業所をはじめとする福祉事業所、食品スーパー、飲食等が雇用吸収力を発揮していることが分かります。

■狛江市内に分布する主な業種（産業中分類別）

・事業所数上位業種（30件以上）

産業中分類による区分	事業所数	比率
総数(全産業)	1,956	100.0%
不動産賃貸業・管理業	221	11.3%
飲食店	204	10.4%
洗濯・理容・美容・浴場業	149	7.6%
医療業	126	6.4%
その他の小売業	122	6.2%
飲食料点小売業	120	6.1%
総合工事業	112	5.7%
職別工事業(設備工事業を除く)	86	4.4%
社会保険・社会福祉・介護事業	74	3.8%
設備工事業	63	3.2%
その他の教育、学習支援業	62	3.2%
技術サービス業(他に分類されないもの)	47	2.4%
機械器具小売業	45	2.3%
その他の事業サービス業	34	1.7%
織物・衣服・身の回り品小売業	30	1.5%
上記以外	461	23.6%

・従業者数上位業種（200人以上）

産業中分類による区分	従業者数(人)	比率
総数(全産業)	15,428	100.0%
医療業	2,019	13.1%
社会保険・社会福祉・介護事業	1,547	10.0%
飲食料点小売業	1,349	8.7%
飲食店	1,250	8.1%
その他の事業サービス業	1,036	6.7%
その他の小売業	825	5.3%
総合工事業	659	4.3%
不動産賃貸業・管理業	574	3.7%
洗濯・理容・美容・浴場業	486	3.2%
その他の教育、学習支援業	430	2.8%
職別工事業(設備工事業を除く)	424	2.7%
道路旅客運送業	374	2.4%
持ち帰り・配達飲食サービス業	290	1.9%
設備工事業	287	1.9%
不動産取引業	223	1.4%
技術サービス業(他に分類されないもの)	210	1.4%
上記以外	3,445	22.3%

資料：経済センサス活動調査(平成28年)

地区別状況

●中央地区は成熟型、他は建設・不動産業が上位

市内地区別に事業所数の分布をみると、中央地区 513、北地区 432、東地区 384、南地区 339、西地区 288 の順で多くなっています。

上位業種についてみると、卸小売、飲食は特に中央地区で多く、市内の卸小売・飲食事業所の約3割が中央地区に集中しています。他の地区の多くは卸小売業に次いで建設業が2位（西地区では3位）になっています。不動産・賃貸業、生活関連サービス業、医療福祉業は、いずれの地区でも上位に入っています。

■事業所数の分布でみる主な業種（地区別）

狛江市			狛江市中央地区			狛江市南地区		
分類	事業所数	比率	分類	事業所数	比率	分類	事業所数	比率
全事業所数	1,956	100.0%	全事業所数	513	100.0%	全事業所数	339	100.0%
卸・小売	422	21.6%	卸・小売	115	22.4%	卸・小売	66	19.5%
建設業	261	13.3%	宿泊・飲食	95	18.5%	建設業	57	16.8%
不動産・賃貸	257	13.1%	不動産・賃貸	71	13.8%	不動産・賃貸	45	13.3%
宿泊・飲食	230	11.8%	医療、福祉	65	12.7%	生活サービス・娯楽	41	12.1%
医療、福祉	200	10.2%	生活サービス・娯楽	55	10.7%	宿泊・飲食	33	9.7%
生活サービス・娯楽	185	9.5%	建設業	31	6.0%	医療、福祉	27	8.0%
製造業	85	4.3%	製造業	20	3.9%	専門サービス	21	6.2%
その他	316	16.2%	その他	61	12.0%	その他	49	14.4%

狛江市東地区			狛江市西地区			狛江市北地区		
分類	事業所数	比率	分類	事業所数	比率	分類	事業所数	比率
全事業所数	384	100.0%	全事業所数	288	100.0%	全事業所数	432	100.0%
卸・小売	80	20.8%	卸・小売	57	19.8%	卸・小売	104	24.1%
建設業	52	13.5%	不動産・賃貸	45	15.6%	建設業	81	18.8%
不動産・賃貸	51	13.3%	建設業	40	13.9%	不動産・賃貸	45	10.4%
医療、福祉	36	9.4%	宿泊・飲食	33	11.5%	生活サービス・娯楽	40	9.3%
宿泊・飲食	35	9.1%	医療、福祉	33	11.5%	医療、福祉	39	9.0%
製造業	28	7.3%	生活サービス・娯楽	22	7.6%	宿泊・飲食	34	7.9%
生活サービス・娯楽	27	7.0%	サービス業（他に分類されないもの）	14	4.9%	サービス業（他に分類されないもの）	16	3.7%
その他	75	19.6%	その他	44	15.2%	製造業	16	3.7%
						その他	57	13.1%

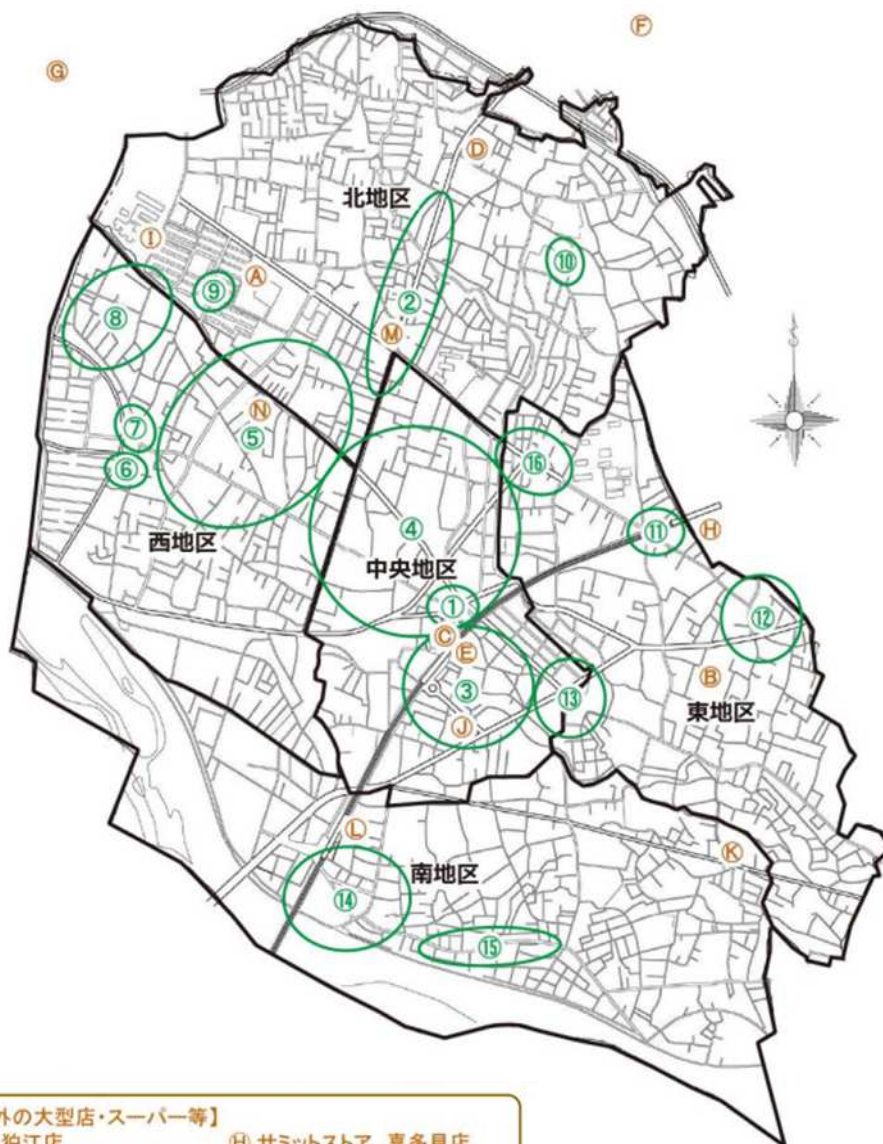
法人・個人業を含む民間事業所。業種は略称している。

資料：経済センサス活動調査（平成28年）

狛江市内には現在、16の商店会（任意団体、組合組織を含む）、11か所の大型店（食品スーパー、ホームセンター、ドラッグストアを含む）があります。大型店は隣接区市の3施設も至近で、利用しやすい位置にあります。

■商店会・大型店位置図

- | 【狛江市商店会】 | |
|-------------------|----------------|
| ① 狛江セントラル商店街 | ⑨ 狛江団地商店会 |
| ② 御台橋商業会 | ⑩ 狛江五小前商店会 |
| ③ 狛江駅前親栄会 | ⑪ 岩戸栄通り商店街 |
| ④ 狛江駅北口商工振興会 | ⑫ 二の橋通り商店会 |
| ⑤ 上和泉商店会 | ⑬ 狛江銀座商店会 |
| ⑥ ひかり商店会 | ⑭ 和泉多摩川商店街振興組合 |
| ⑦ 狛江四小前商店会 | ⑮ 猪方駒井商店会 |
| ⑧ 狛江ショッピングセンター商店会 | ⑯ 狛江中央商店会 |



- | 【狛江市内・外の大型店・スーパー等】 | |
|--------------------|-----------------|
| ① ユニディ 狛江店 | ⑨ サミットストア 喜多見店 |
| ② ニトリ狛江ショッピングセンター | ⑩ OKストア 狛江店 |
| ③ 小田急OX 狛江店 | ⑪ スーパー三和 狛江店 |
| ④ いなげや 狛江東野川店 | ⑫ 京王ストア 駒井店 |
| ⑤ 小田急マルシェ狛江 | ⑬ ニューヤヒロ 和泉多摩川店 |
| ⑥ 島忠ホームズ 仙川店 | ⑭ スギ薬局 狛江店 |
| ⑦ イトーヨーカドー 国領店 | ⑮ OKストア 狛江中和泉店 |

■市内の商店会一覧

商店会名	設立時期	会員数	立地タイプ	主催イベント等	参加イベント等
① 狛江セントラル商店街	昭和 62 年	7	駅前中心市街地	セントラル商店街まつり	こまえフェスティバル
② 御台橋商栄会	昭和 45 年	38	住宅地	年末サックスセール、 ごだいバル	狛江市民まつり出店、 伊豆美神社祭礼
③ 狛江駅前親栄会	昭和 28 年	65	駅前	特になし	特になし
④ 狛江駅北口商工振興会	不明	不明	駅前中心市街地	不明	不明
⑤ 上和泉商店会	昭和 30 年頃	35	幹線道路沿道	町内会まつり	伊豆美神社祭礼
⑥ ひかり商店会	昭和 45 年頃	7	住宅地	特になし	こまえ桜まつり出店
⑦ 狛江四小前商店会	不明	不明	住宅地	不明	不明
⑧ 狛江ショッピングセンター商店会	昭和 45 年	30	住宅地	ワンコイン酒場まつり	伊豆美神社祭礼
⑨ 狛江団地商店会	昭和 44 年	5	団地	歳末売り出し	特になし
⑩ 狛江五小前商店会	昭和 63 年頃	2	住宅地	特になし	特になし
⑪ 岩戸栄通り商店街	不明	10	駅前	特になし	特になし
⑫ 二の橋通り商店会 (2017 年(平成 29 年)に二の橋 商店会と合併)	昭和 33 年頃	32	住宅地	特になし	桜まつり(喜多見商店 会主催)
⑬ 狛江銀座商店会	昭和 25 年頃	34	幹線道路沿道	特になし	伊豆美神社祭礼
⑭ 和泉多摩川商店街振興組合	昭和 30 年頃	60	駅前	歳末福引大売り出し、 和泉多摩川サマーフェ スティバル(一八〇)、 スタンプ事業	特になし
⑮ 猪方駒井商店会	昭和 42 年	16	住宅地	秋一番大売り出し	特になし
⑯ 狛江中央商店会	昭和 45 年頃	10	住宅地	特になし	特になし

資料:商店会長ヒアリングに基づいて作成

消費者アンケート

●調査の目的

本プランの検討にあたり市民の暮らしの実情と商業振興に関する意見等を把握することを目的に実施しました。

●調査対象

無作為抽出した市内在住の18歳以上の方：2,500人

●実施の方法

郵送配布・郵送回収

●実施期間

平成30年（2018年）8月3日～8月31日

●配布・回収状況

配布票数	有効回収票数	有効回収率
2,500	643	25.7%

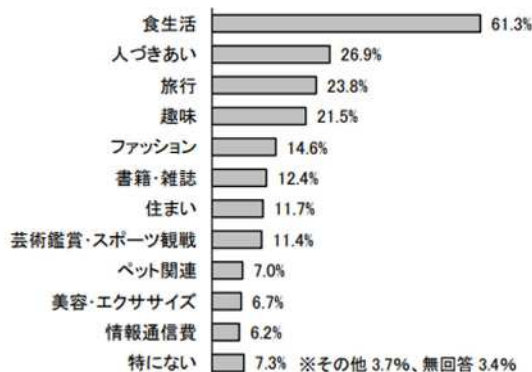
日頃の暮らしについて

●「食生活」に次いで「人づきあい」や「趣味」への支出を大切にしています。

大切にしている支出は、「食生活」を61.3%があげ、次いで「人づきあい」26.9%、「旅行」23.8%、「趣味」21.5%などがあげられ、生活の楽しみを大切にしていることがうかがわれます。属性別にみると、「趣味」への支出は特に男性が、「人づきあい」は特に10～20歳の若者が大切にしています。30～49歳では「食生活」のウェイトが特に高くなっています。

■ライフスタイルで大切にしている支出（MA、3択）

n=643



買物について

- 「生鮮食材」「パン・和洋菓子」「クリーニング」は自宅周辺、「弁当・総菜」「書籍・雑誌」は狛江駅周辺、「理・美容」「外食」は市外を利用することが多い状況にあります。

生鮮食材や嗜好飲料は自宅周辺のスーパーで買っています。価格の安さと近さが店選びの基準です。

弁当・総菜・パン菓子は自宅周辺か駅周辺のスーパーやコンビニ、専門店で買っています。

クリーニングは、自宅周辺の専門店を利用しています。近さが店選びのポイントです。

家具や趣味・スポーツ用品、ファッション、理・美容は主に市外に求めています。外食も市外が多く、市内では狛江駅周辺がメインです。

理・美容、外食、クリーニングは「なじみの店」を選ぶ傾向もみられます。

買い物の場所は地区別に異なります。狛江駅周辺（中央地区）は、広く市民の買い物、飲食の場になっています。南地区では狛江駅周辺に次いで和泉多摩川駅周辺、東地区では喜多見駅周辺が日常の買い物の中心、西地区と北地区では自宅周辺か隣接都市がメインとなっています。

■ 買い物の場所 ※品目ごとに「買い物する地域」「店の種類」は2択、「店を選ぶ理由」は3択。選択数は略記した。

	買い物する地域	店の種類	店を選ぶ理由
食材（生鮮等）	①自宅周辺 44.3% ②狛江駅周辺 37.6% ③喜多見駅周辺 32.3%	①スーパー79.2% ②宅配 16.2% ③大型店 13.2%	①価格が安い 44.6% ②近さ 42.0% ③品揃え 38.6%
弁当・総菜	①狛江駅周辺 35.1% ②自宅周辺 33.6% ③喜多見駅周辺 22.2%	①スーパー58.0% ②コンビニ 28.6% ③専門店 14.9%	①近さ 37.5% ②品揃え 30.8% ③品質 26.6%
パン・和洋菓子	①自宅周辺 38.1% ②狛江駅周辺 33.3% ③喜多見駅周辺 22.9%	①スーパー55.8% ②専門店 34.4% ③コンビニ 20.1%	①品質 36.1% ②品揃え 32.2% ③近さ 31.6%
酒類・嗜好飲料	①自宅周辺 37.2% ②狛江駅周辺 23.5% ③喜多見駅周辺 20.2%	①スーパー63.1% ②コンビニ 16.8% ※無回答 19.6%	①価格が安い 37.9% ②品揃え 32.2% ③近さ 29.5%
日用雑貨	①狛江駅周辺 31.9% ②自宅周辺 31.1% ③近隣市 21.5%	①スーパー56.5% ②大型店 26.9% ③ネット 13.5%	①品揃え 46.5% ②価格が安い 39.8% ③近さ 24.7%
家具・インテリア	①近隣市以遠 42.9% ②近隣市 22.9% ※無回答 23.8%	①大型店 42.1% ②専門店 26.7% ③ネット 19.0%	①品揃え 44.6% ②価格が安い 22.6% ※無回答 26.1%
ファッション	①近隣市以遠 57.7% ②近隣市 25.7% ※無回答 19.4%	①駅・デパート 38.9% ②専門店 31.6% ③ネット 19.9%	①品揃え 44.2% ②価格が安い 21.5% ③ブランド 16.5%※無回答 21.8%
書籍・雑誌	①狛江駅周辺 37.5% ②近隣市以遠 35.9% ※無回答 18.4%	①専門店 47.0% ②ネット 20.1% ③駅・デパート 19.8%	①品揃え 48.4% ②近さ 17.1% ※無回答 23.8%
趣味・スポーツ用品	①近隣市以遠 57.1% ②近隣市 19.3% ※無回答 25.2%	①専門店 38.1% ②ネット 27.2% ※無回答 26.4%	①品揃え 49.9% ②価格が安い 16.5% ※無回答 28.9%
理・美容	①近隣市以遠 24.0% ②近隣市 23.0% ※無回答 11.5%	①専門店 69.5% ※無回答 25.2%	①なじみの店 39.5% ②価格が安い 21.5% ③雰囲気接客 15.1%※無回答 19.8%
クリーニング	①自宅周辺 35.3% ②狛江駅周辺 23.0% ※無回答 18.5%	①専門店 65.3% ※無回答 28.9%	①近さ 33.6% ②価格が安い 24.1% ③なじみの店 17.4%※無回答 26.7%
外食	①近隣市以遠 41.2% ②近隣市 28.0% ③狛江駅周辺 27.2%	①専門店 59.7% ②駅・デパート 22.7% ※無回答 23.6%	①品質 26.9% ②なじみの店 18.7% ③雰囲気接客 18.4%※無回答 22.4%
贈答品	①近隣市以遠 59.4% ②近隣市 22.6% ※無回答 18.5%	①駅・デパート 49.6% ②専門店 22.7% ※無回答 23.2%	①品揃え 44.9% ②品質 23.8% ③ブランド 16.6%※無回答 24.4%

市内での買い物

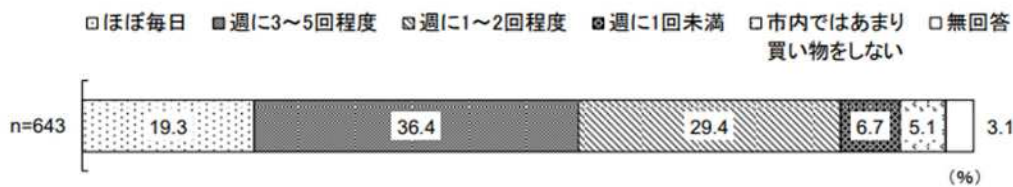
●市内では、過半数が週3回以上買い物しています。買い物環境には過半数が満足しています。

市内での買い物頻度は、「週に3～5回程度」36.4%、「週に1～2回程度」29.4%、「ほぼ毎日」19.3%（65歳以上、西地区では2割強）の順で多くみられます。「週に1回未満」は6.7%（18～29歳及び西地区では1割強）、「市内ではあまり買い物をしない」は5.1%（18～29歳では2割弱、東地区では約1割）と少数です。

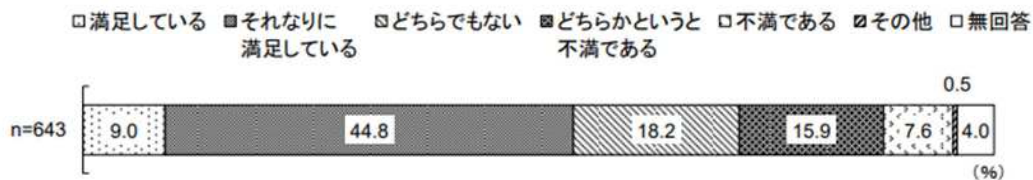
市内の買い物環境には、5割以上が“満足”（それなりに満足44.8%、満足9.0%）しています。“不満”も2割強（どちらかという不満15.9%、不満7.6%）みられます。「どちらでもない」は18.2%で、65歳以上及び北地区、西地区でやや高くなっています。

市内の買い物環境への満足度は、市内での買い物頻度が多いほど高く、少ないほど低い傾向がみられます。満足・不満の理由（記述）をみると、店の種類や数、近さ、品揃えなどが要因としてあげられています。年代や地区の別によるニーズに対応しながら、身近な買い物環境を充実させていくことが求められているといえます。

■市内での買い物頻度（SA）



■市内の買い物環境への満足度（SA）



※市内での買い物頻度×買い物環境への満足度

(単位: %)

	合計(n=)	満足している	それなりに満足している	どちらでもない	どちらかという不満である	不満である	その他	無回答
全体	643	9.0	44.8	18.2	15.9	7.6	0.5	4.0
ほぼ毎日	124	11.3	50.0	16.9	12.1	8.1	0.0	1.6
週に3～5回程度	234	10.7	53.4	14.1	16.2	4.7	0.4	0.4
週に1～2回程度	189	7.4	45.5	16.4	20.1	8.5	0.5	1.6
週に1回未満	43	4.7	23.3	37.2	18.6	14.0	2.3	0.0
市内ではあまり買い物をしない	33	9.1	12.1	48.5	9.1	18.2	0.0	3.0

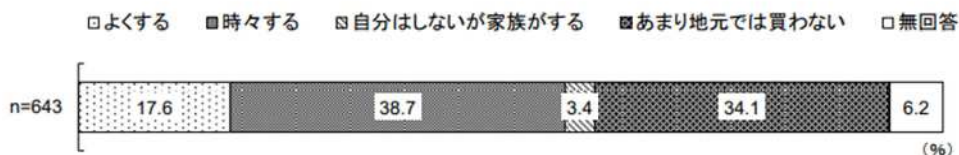
- 地元商店街の買い物は4割が「時々」、2割弱が「よくする」と答えています。
 地元で買い物しない理由は「品揃え」と「近くにない」がメインとなっています。

地元商店街での買い物は、「時々する」38.7%（中央地区では5割超）、「あまり地元では買わない」34.1%（18～29歳では5割半、西地区・北地区では4割弱）、「よくする」17.6%（65歳以上では2割半）の順となっています。

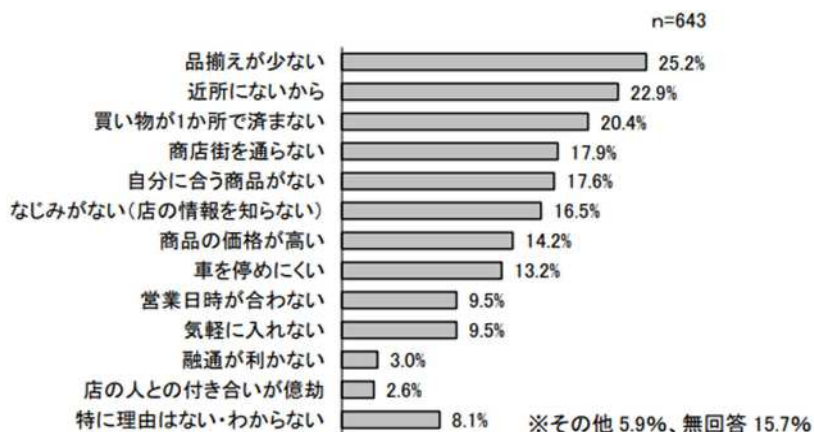
地元商店街で買い物をする・しやすい理由としては、「近い」が6割弱（買い物を「よくする」人では9割近く）あげられています（グラフ略）。

地元商店街で買い物をしない・しづらい理由としては、「品揃えが少ない」25.2%（南地区で4割、50～64歳で3割半）、「近所にないから」22.9%（30～49歳及び西地区・北地区で3割弱）、「買い物が1か所で済まない」20.4%が上位にあげられています。

■地元（自宅の最寄り）商店街での買い物（SA）



■地元商店街での買い物をしない・しづらい理由（MA）



●多くの人が、市内の商店街は「魅力があれば利用したい」と考えています。

今後、市内の商店街を“利用したい”と約8割が答えています（「魅力があれば」49.5%、「きっかけがあれば」16.2%、「進んで」13.2%）利用したいと答えています。

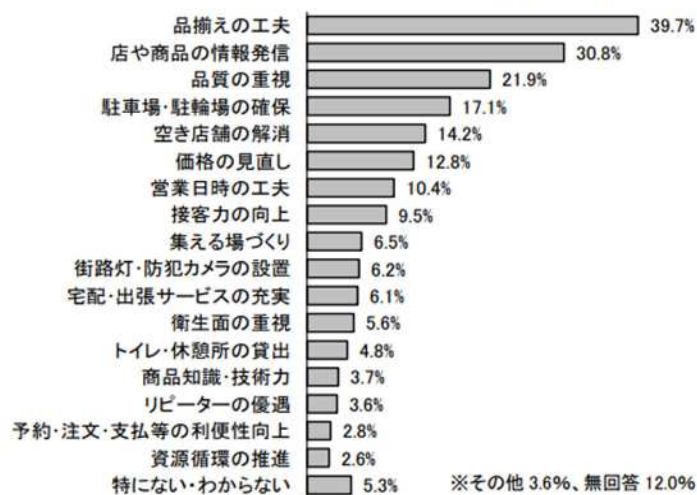
「市内の商店街を利用したくなるために必要なこと」としては、「品揃えの工夫」を39.7%、「店や商品の情報発信」を30.8%があげています。

■今後粕江市の商店街を利用したいか（SA）

□進んで利用したい □魅力があれば（わかれば）利用したい □きっかけがあれば 利用したい □特に利用する 意思はない □その他 □わからない □無回答



■市内の商店街を利用したくなるために必要なこと（MA、3択） n=643



経営者アンケート

(1) アンケートの実施概要

●調査の目的

本プランの検討にあたり、市内事業者の経営の実情と商業振興に関する意見等を把握することを目的に実施しました。

●調査対象

無作為抽出した市内に所在する事業所：1,000 事業所

●実施の方法

郵送配布・郵送回収

●実施期間

平成 30 年（2018 年）9 月 14 日～10 月 12 日

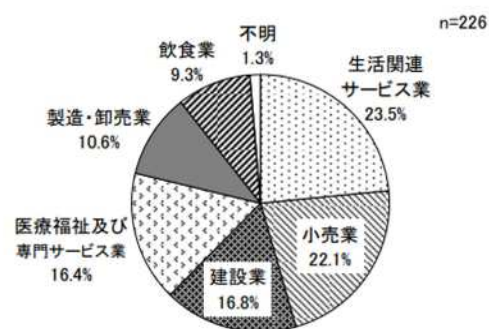
●配布・回収状況

配布票数	有効回収票数	有効回収率
1,000	226	22.6%

●業種別にみると、生活関連サービス業、小売業、建設業の順で多くなっています。

消費者の日常生活との近接性から業種を下のように 6 区分して分布をみてみると、生活関連サービス業と小売業が 2 割超で多くなっています。飲食業は 1 割弱と少数です。

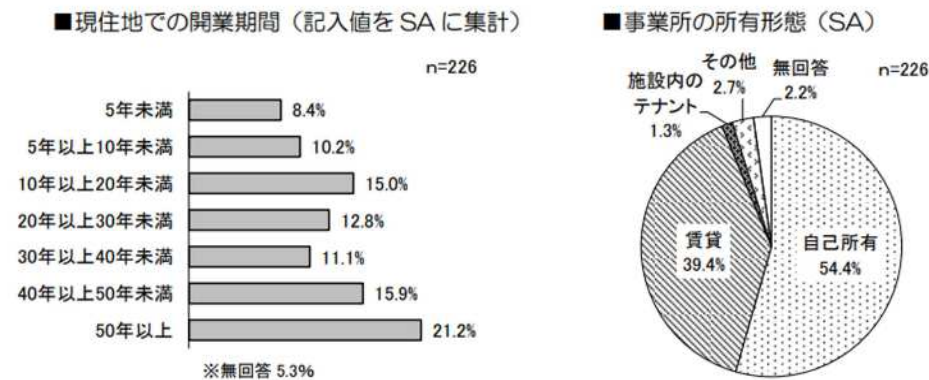
■業種（MA、回答内容により6区分に分類）



●現住地で開業後30年以上の事業所が約半数、店舗等の所有形態は「自己所有」が過半数です。

現住地での開業期間は、「50年以上」が21.2%と多く、30年以上でみると48.2%となり、狛江市で平成時代以前に開業した事業所が半数近くとなっています。一方で、10年未満の事業所も18.6%と約2割みられます。

現在の事業所の所有形態は、「自己所有」が54.4%と過半数を占めています。「賃貸」及び「施設内のテナント」は、業種別には専門サービス業、飲食業、経営者の年齢別には30～40歳代で6割以上、地区別には中心地区で5割強と比率が高くなっています。北地区・南地区では「自己所有」が6割以上となっています。



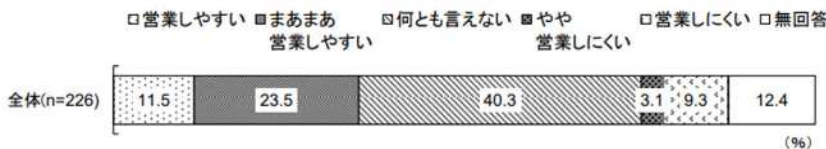
6) 市や地域との関わりの中で

●狛江市は「営業しやすい」と3割半が答え、現住地の営業環境には5割が満足しています。

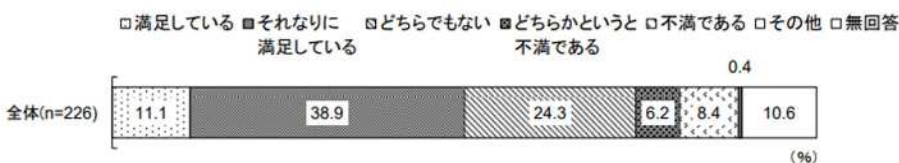
狛江市は商業経営者にとって営業しやすいと思うかについては、40.3%が「何とも言えない」と答え、「営業しやすい」は35.0%（「まあまあ営業しやすい」23.5%、「営業しやすい」11.5%）、「営業しにくい」は12.4%（「営業しにくい」9.3%、「やや営業しにくい」3.1%）と評価しています。「営業しやすい」は、30～40歳代で5割半、駅前型及び中心地区で5割、専門サービス業で4割強と高くなっており、「営業しにくい」は、小売業、西地区で2割を超えています。

現住地の営業環境については、「満足している」が50.0%（「それなりに満足」38.9%、「満足」11.1%）、「どちらでもない」が24.3%、「不満である」が14.6%（「どちらかという不満である」6.2%、「不満である」8.4%）となっています。「満足している」は、30～40歳代及び飲食業と専門サービス業で6割を超えており、「不満である」は、生活関連サービス業で2割を超えています。地区別には、中心地区で相対的に満足度が高く、南地区で低くなっています。

■狛江市の営業しやすさの評価（SA）



■現住地の営業環境への満足度（SA）



7) 市と市の商業の将来について

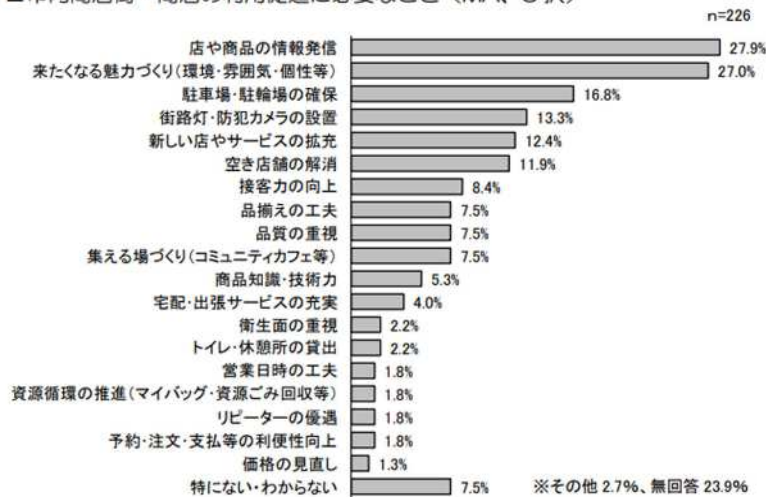
●将来に向けては「イベントの充実」「地産地消の推進」が必要、商店街・商店の利用促進には「情報発信」と「魅力づくり」が重要、「専門飲食店」が不足していると考えられています。

狛江市の商業や商店街で進めるべきこととしては、「イベント・行事の充実」を19.5%（専門サービス業及び30～40歳代では3割以上）、「地産地消・地場産業の推進」を18.6%（製造・卸売業、専門サービス業、東地区及び南地区では2割半）、続いて「防災・防犯への寄与」を16.4%（専門サービス業では3割、製造・卸売業、駅前型及び沿道型では2割半）があげています。

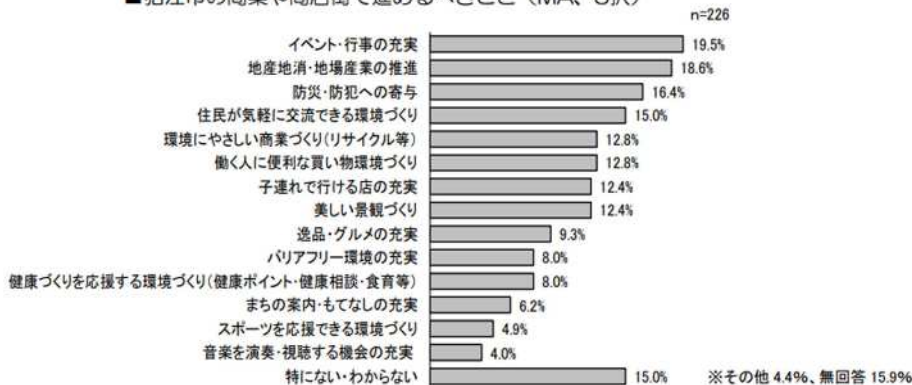
市内商店街・商店の利用促進に必要なこととしては、「店や商品の情報発信」を27.9%（飲食業及び駅前型では4割弱、沿道型、30～40歳代及び小売業、生活関連サービス業では3割半）があげています。

人（客）を集める上で市内に不足していると思う施設としては、「専門飲食店」を21.7%（専門サービス業では3割半、西地区では3割）があげています。

■市内商店街・商店の利用促進に必要なこと（MA、3択）



■狛江市の商業や商店街で進めるべきこと（MA、3択）



●行政や商工会の施策事業については、融資制度とコマエリア（情報発信）が歓迎されています。

行政や商工会の主要な施策事業について、①参加・利用経験、②今後の参加・利用意向、③経営への有効性への評価をうかがいました。

参加・利用経験については、「狛江市小規模企業（小口）事業資金」で16.4%（飲食業、小売業では2割強）、「コマエリア」で14.6%（小売業で2割強）が、経験ありと答えており、利用率が比較的高くなっています。

今後の参加・利用意向については、「コマエリア」で14.6%（小売業では2割半）、「狛江市小規模企業（小口）事業資金」で9.7%（製造・卸売業では2割弱）が、意向ありと答えています。

経営への有効性については、「狛江市小規模企業（小口）事業資金」で28.3%が有効と答えており、「商工会の宅配事業」が15.0%、「コマエリア」が14.6%、「わくわく元気！狛江逸品コンテスト」が13.7%でこれに次いでいます。

なお、各施策事業は、小売業と飲食業で利用経験・利用意向とも高い傾向があります。特に「商工会の宅配事業」は、小売業で利用経験が20.0%、利用意向は24.0%、有効性は32.0%があると答えており有望視されています。「コマエリア」については、小売業で利用経験、利用意向、有効性ともに2割以上となっています。

各施策事業は、「知らなかった」との回答が一定量みられるとともに、利用経験・利用意向・有効性の評価を通じて無回答が一定して3割以上みられることから、情報の周知を図る必要性があります。

【狛江市農業振興計画】

(2) 狛江市の農地・農業の概況

①農地の状況

農地面積は、40.7ha で市域の6.4%、うち生産緑地は農地の約8割（31.6ha）を占め、相続税納税猶予農地は、生産緑地面積の約6割（18.1ha）を占めています。

農地面積は減少傾向にあり、平成23年の44.8haから4.1ha減となっています。

また、生産緑地は市内に点在しており、農地と同様に近年は緩やかな減少傾向を示しています。

【農地面積】

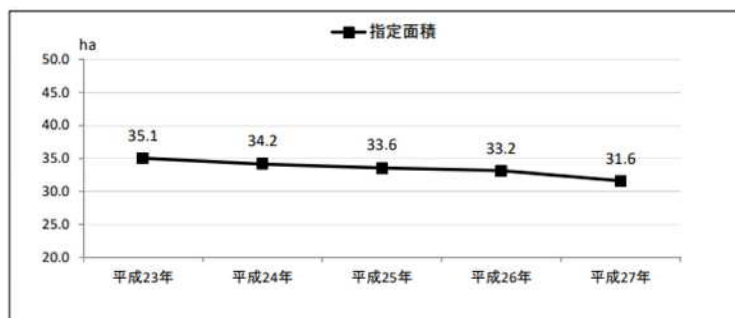
項目	面積 (ha)	
総土地面積	639.0	
農地面積 (H27)	40.7	6.4% (総土地面積に対する割合)
うち生産緑地面積 (H28)	31.6	77.6% (農地面積に対する割合)
相続税納税猶予制度 適用農地面積 (H28)	18.1	57.3% (生産緑地面積に対する割合)

*資料：平成28年度 東京都の地域・区市町村別農業データブック

※生産緑地：都市計画法による地域地区の一種で生産緑地法により制度化され、「農林漁業との調整を図りつつ良好な都市環境の形成に資する」ため区市が指定。生産緑地に指定されると長期の営農が義務づけられるが、税の軽減措置が受けられる。

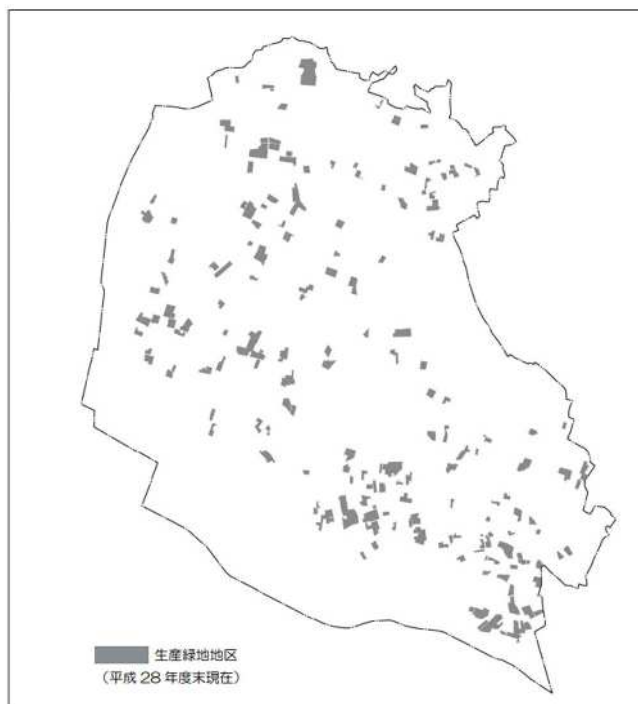
※相続税納税猶予制度：相続又は遺贈により農地等（農地、採草放牧地及び準農地）を取得し、当該農地及び採草放牧地が引き続き農業の用に供される場合には、本来の相続税額のうち農業投資価格を超える部分に対応する相続税が、一定の要件のもとに納税が猶予され、相続人が死亡した場合等に猶予税額が免除される。

【生産緑地面積の推移】



*資料：こまえのかんきょう（平成27年度実績）

【生産緑地の分布状況】



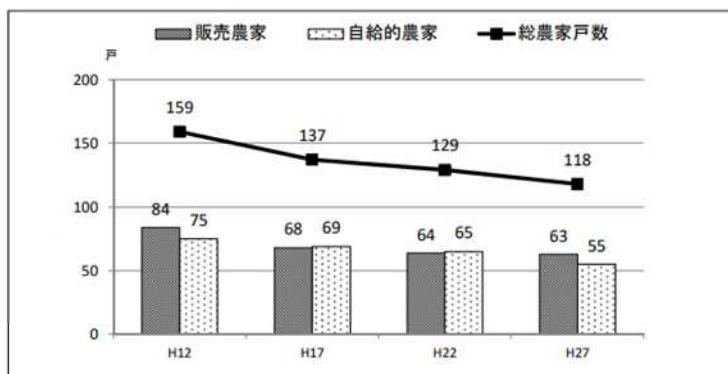
(3) 農業者の状況

① 農家数

平成27年の農家数は118戸（総世帯数の0.3%）で、販売農家が63戸、自給的農家は55戸であり、平成17年からの10年間で農家数は19戸減少していますが、販売農家は緩やかな減少（5戸）となっています。

また、平成27年の販売農家について主副業別で見ると、主業農家は増加傾向であり、準主業農家は減少傾向で、副業的農家は平成22年からは微増していますが、平成12年との比較では減少となっています。

【農家数の推移】



*資料：農林業センサス

（農林業センサスでは農家を以下のように分類）

※販売農家：経営耕地面積が30アール以上又は農家販売額が50万円以上の農家。

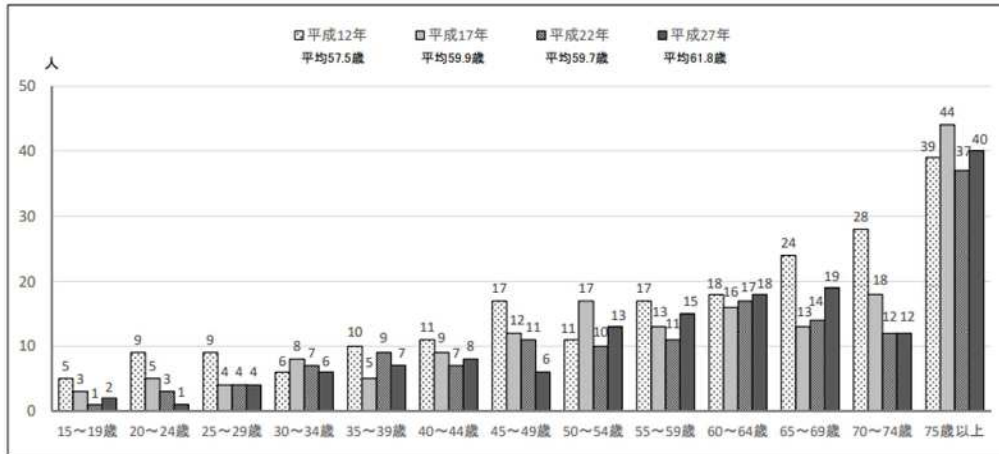
※自給的農家：経営耕地面積が30アール未満かつ農家販売額が50万円未満の農家。

⑥農業の担い手

農業の担い手は、平成12年と平成27年との比較では、いずれの年代も概ね減少傾向ですが、平成22年と平成27年との比較では、50歳以上で増加傾向を示し、平均年齢も上がっている状況です。

認定農業者は、平成27年では20経営体で、販売農家63戸のうちの約3割を占めています。また、後継者の状況は、同居、他出農業後継者ともに、平成22年との比較では減少傾向です。

【農業就業人口の推移】



*資料：農林業センサス

※農業就業人口：15歳以上の世帯員のうち、1年間に自営農業のみに従事した者、又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

(4) 農業の取組みと市民とのふれあい

①直売所・共同直売所

市内に、農家の直売所が38箇所、共同直売所（マインズショップ狛江店）が1箇所あります。

【直売所の状況】

農家の直売所（地区）	箇所数
中和泉	14
岩戸北・東和泉・岩戸南・猪方・駒井町	13
西野川・東野川・和泉本町	11
共同直売所	
マインズショップ狛江店	

②市民農園・体験農園

市内に、市民農園が8箇所、体験農園が2箇所開園しています。

【市民農園】

農園名	区画数
いずみほんちょう農園	54
なかいずみ第2農園	36
いわどきた農園	26
にしのがわ第1農園	40
にしのがわ第2農園	65
なかいずみ第3農園	30
もといずみ農園	27
なかいずみ農園	32

総区画数 310 全体面積 5305.54㎡ 平成29年10月1日現在

※市民農園：市が運営し、自然とふれあい農業に対する理解を深めることを目的として設置。

④ 狛江ブランド野菜

狛江独自の GAP（農業生産工程管理）手法の導入により、「統一した狛江オリジナルのチェックリスト」を使用し、各生産工程において項目を一つ一つしっかりと確認・管理をしているため安心・安全でおいしいことが特徴です。

「狛江 GAP 研究会」が生産しており、市内直売所やマインズショップ狛江店などで手に入り、狛江ブランド野菜のシールや結束テープが目印です。



⑤ 保育園、学校給食への供給

右表の保育園、小学校、中学校給食センターに給食の食材として狛江産農産物を供給しています。

また、小学校では、学校給食への地場産物の活用を進め、教科の学習の理解を深める手立て（食育）にもなっています。

※「食育」は、人間が生きる上での基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てるものである（「食育基本法」前文より）

保育園（公立・私立）	
公立保育園（4園）	私立保育園（3園）
藤塚保育園	めぐみの森保育園
駒井保育園	いずみ保育園
駄倉保育園	狛江保育園
三島保育園	
小学校（6校）	
狛江第一小学校	狛江第三小学校
狛江第五小学校	狛江第六小学校
和泉小学校	緑野小学校
中学校	
中学校給食センター（市内4校へ配送）	

農業者アンケート

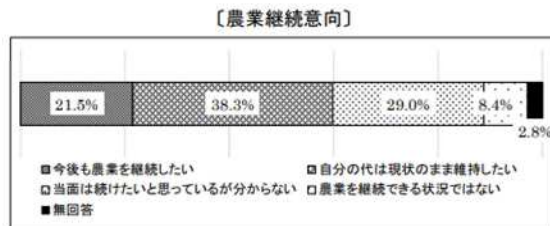
調査対象：市内農家 109 戸 回収数：107 票
回収率：98.2%

(1) 農業者アンケート結果の概要

① 農業経営について

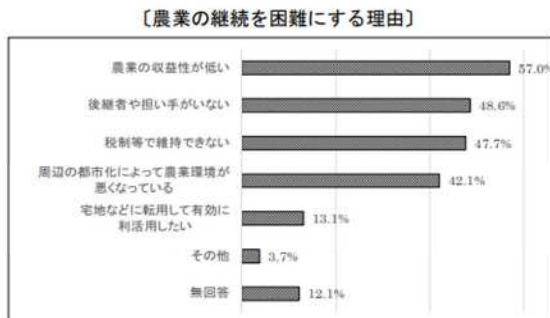
〔農業継続意向〕

農業の継続意向は、約 6 割が「今後も農業を継続したい」「自分の代は現状のまま維持したい」と当面の継続意向を示しています。



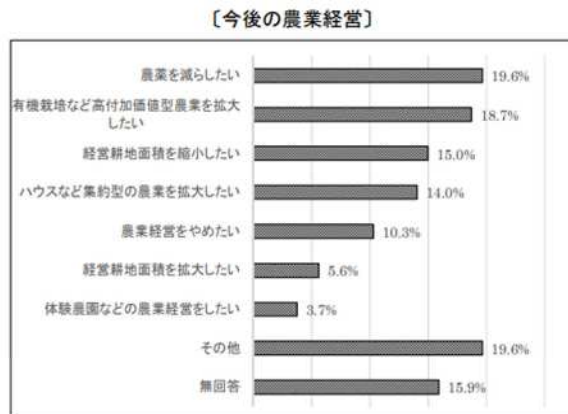
〔農業の継続を困難にする理由〕

一方で、農業継続を困難とする理由として、約 6 割の農家が「農業の収益性が低い」を、約 5 割近い農家が「後継者や担い手がない」「税制等で維持できない」などをあげています（複数回答）。



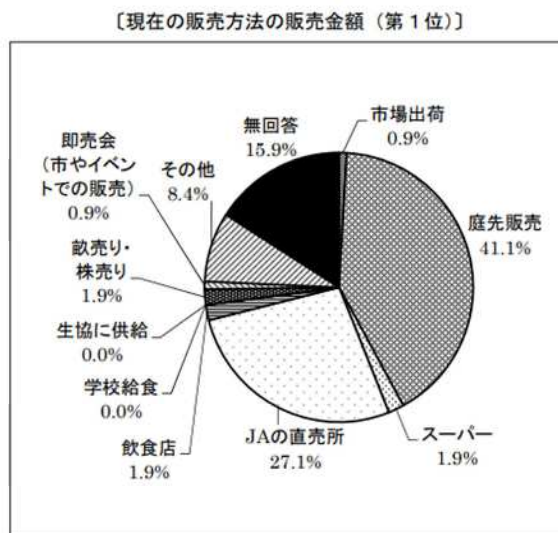
〔今後の農業経営〕

今後の農業経営については、「農業を減らしたい」「有機栽培など高付加価値型農業を拡大したい」と、環境に配慮した農業経営（約2割弱）や「ハウスなど集約型の農業を拡大したい」の意向があります（複数回答）。



〔現在の販売方法の販売金額（第1位）〕

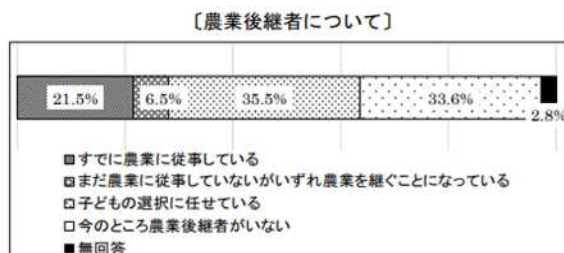
また、現在の販売方法の販売額第1位は、「庭先販売」が約4割となっています。



②農業の担い手について

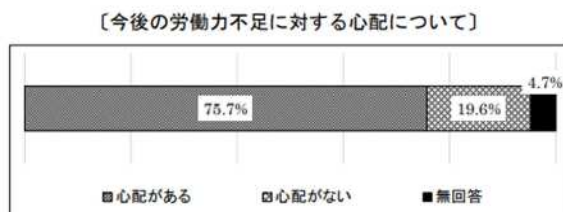
〔農業後継者について〕

農業後継者については、「すでに農業に従事している」「まだ農業に従事していないがいずれ農業を継ぐことになっている」を合わせ、約3割の農家で後継者がいる状況です。



〔今後の労働力不足に対する心配について〕

また、今後の労働力不足に対して「心配がある」が7割を超えています。

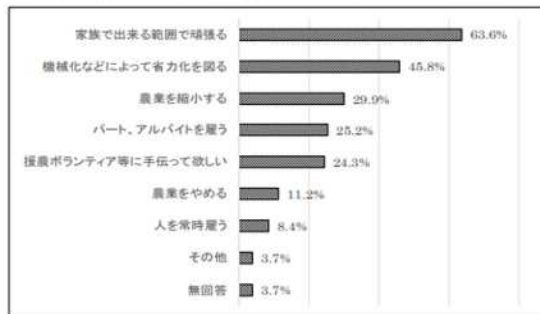


〔今後の農業の担い手や労働力不足に対する考えについて〕

その対応として、「家族で出来る範囲で頑張る」が約6割、「機械化などによる省力化」「パート、アルバイトを雇う」「援農ボランティア等の手伝い」をあげています。

一方で、「農業を縮小する」(約3割)、「農業をやめる」(約1割)とする回答も見受けられます(複数回答)。

〔今後の農業の担い手や労働力不足に対する考えについて〕



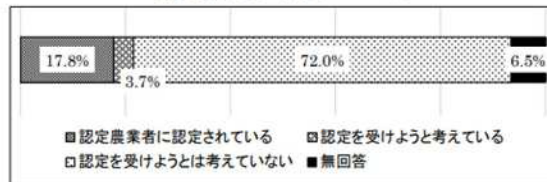
〔認定農業者制度の認知度と認定〕

認定農業者制度については、7割を超える農家が認知していますが、「認定を受けようとは考えていない」も同様に7割を占めています。

〔認定農業者制度の認知度〕



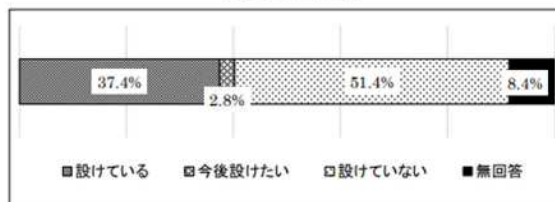
〔認定農業者の認定について〕



〔直売所の設置〕

「直売所」は約4割の農家で設置していますが、「設けていない」農家も5割を超えています。

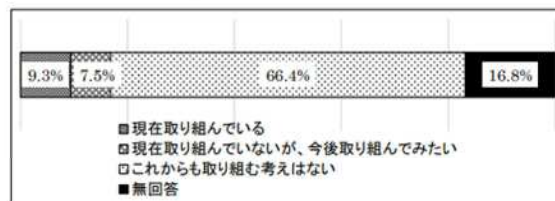
〔直売所の設置〕



〔学校給食の取組みについて〕

学校給食の取組みについては、「今後取り組んでみたい」とする回答が、件数に直すと8戸の農家が取り組む意向を持っています。

〔学校給食の取組みについて〕



消費者アンケート

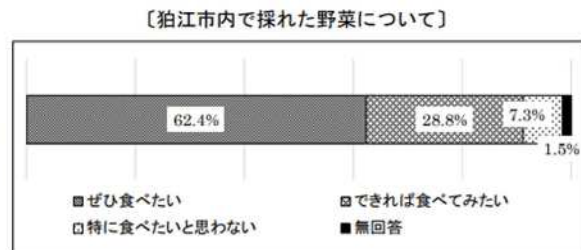
調査対象：市民 1,500 人 回収数：590 票
回収率：39.3%

(2) 消費者アンケート結果の概要

①農産物の購入や消費について

〔狛江市内で採れた野菜について〕

狛江市内で採れた野菜について、「ぜひ食べたい」が約6割、「できれば食べてみたい」が3割と合わせて9割以上の市民が食べたい意向を持っています。



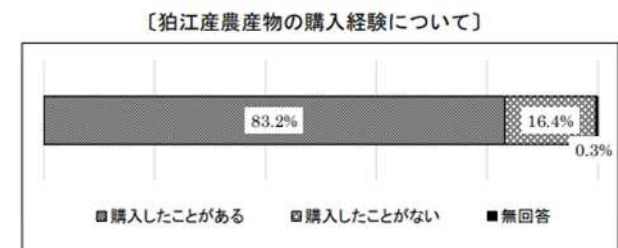
〔狛江産農産物を高く買うか〕

狛江産の購入に対して「高くても買う」と「高く買おうとは思っていない」がともに約4割となっています。



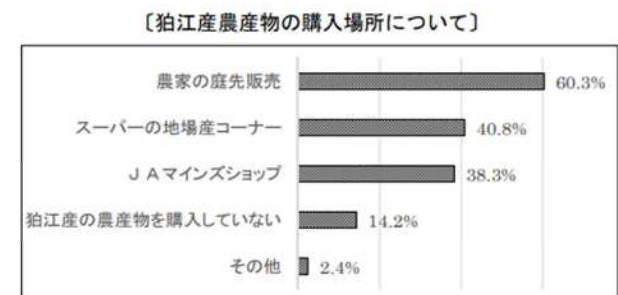
〔狛江産農産物の購入経験について〕

狛江産農産物を「購入したことがある」が8割を超えています。



〔狛江産農産物の購入場所について〕

購入場所は「農家の庭先販売」が6割、同様に「スーパーの地場産コーナー」が4割、「JAマイنزショップ」も4割弱となっています（複数回答）。



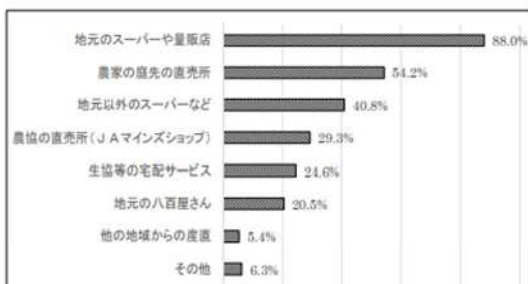
〔普段の野菜の購入場所〕

普段の購入場所は、「地元のスーパー・量販店」が9割弱、また、庭先販売も5割を超えています（複数回答）。

〔狛江市産の野菜を手に入れやすくするために必要なこと〕

また、狛江産農産物を手に入れやすくするためには、「市内のスーパーなどの量販店に狛江産野菜を扱うようにする」が特に多くなっています（複数回答）。

〔普段の野菜の購入場所について〕



〔狛江で採れた野菜を手に入れやすくするために必要なことについて〕

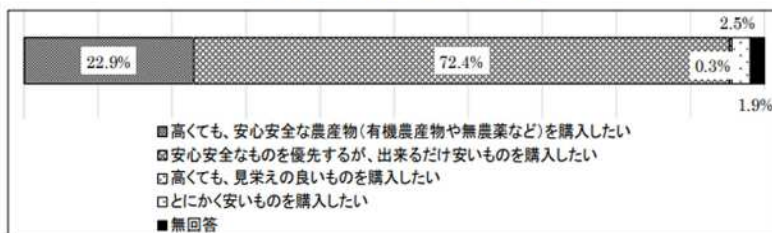


③安心・安全な農産物について

〔農産物の安全性と価格について〕

農産物の安全性と価格については、2割を超える市民が「高くても、安心安全な農産物を購入したい」意向を持っています。また、「安心安全なものを優先するが、できるだけ安いものを購入したい」意向を持つ市民が7割を超えています。

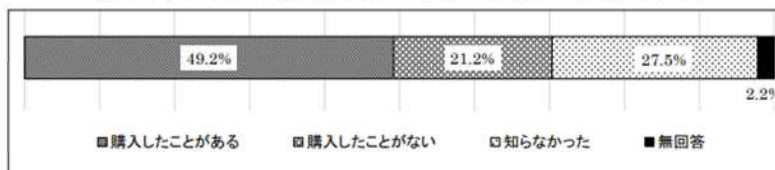
〔農産物の安全性と価格について〕



〔狛江ブランド野菜の購入について〕

狛江ブランド野菜（狛江独自のGAP手法での生産）の購入については、約半数近い市民が「購入したことがある」と回答しています。

〔狛江ブランド野菜（狛江独自のGAP手法での生産）の購入について〕



〔農産物直売所の利用〕

農産物直売所の利用は、「週に3回以上利用」が約1割、「たまに利用している」が7割弱です。

〔農産物直売所の利用について〕



〔農産物直売所について〕

6割を超える市民が「新鮮である」と感じています。また「値段が安い」と「新鮮でおいしい」が4割弱となっています（複数回答）。

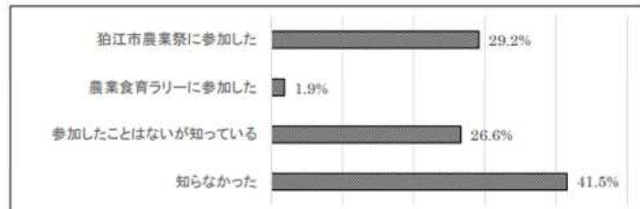
〔農産物直売所について感じていること〕



〔狛江市で行われている農業に関するイベント参加について〕

農業に関するイベントの参加については、3割近い市民が「農業祭」に参加した経験がありますが、一方で「知らなかった」とする市民が約4割います。

〔狛江市で行われている農業に関するイベントの参加について〕



〔学校給食について〕

学校給食については、半数以上の市民が「地元の野菜を増やしてほしい」と望んでいます。

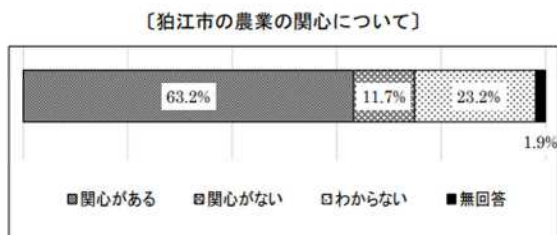
〔学校給食について〕



⑤農業・農地について

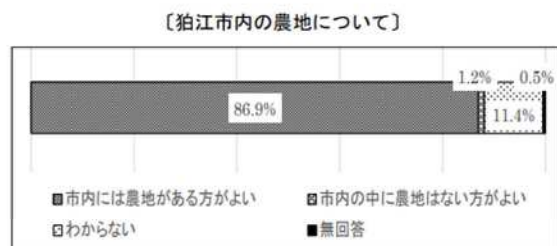
〔狛江市の農業への関心〕

狛江市の農業について、6割の市民が「関心がある」と答えています。



〔狛江市内の農地について〕

市内の農地については「農地がある方がよい」が約9割を占めています。また、市内に農地は必要としない市民はわずか1%です。



〔狛江市の農地の減少について〕

農地の減少については、「今ある農地は残してほしい」という意向が約8割あります。

また、「農地の減少は仕方ない」は、1割を超えています。

